

平成26年度
桑名保健所 年報

《平成27年 7月発行》

桑名保健所

目 次

1 管内概況

(1) 管内略図	…… 1
(2) 桑名保健所(桑名庁舎) の位置図	…… 1
(3) 桑名保健所の概要 (平成27年度体制)	…… 3
(4) 管内の状況	…… 4
(5) 人口動態統計	…… 7

2 三重県民カビジョン

1 三重県民カビジョン・行動計画における事業実績	…… 1 6
2 三重県民カビジョン・行動計画の政策体系	…… 1 6

施策111 防災・減災対策の推進

基本事業11105 災害医療体制の整備

1 災害拠点病院	…… 1 7
2 災害支援病院	…… 1 7
3 地域災害拠点薬局	…… 1 7

施策113 食の安全・安心の確保

基本事業11301 食品の安全・安心の確保

1 食品衛生	…… 1 8
2 食品表示等指導相談事業	…… 2 1

施策114 感染症の予防と体制の整備

基本事業11402 感染症危機管理体制の整備

1 感染症の予防事業	…… 2 2
------------	--------

基本事業11403 感染症対策のための相談・検査の推進

1 エイズ対策促進事業	…… 2 3
2 予防接種	…… 2 4
3 結核予防事業	…… 2 5

施策121 医師確保と医療体制の整備

基本事業12101 医療分野の人材確保

1 保健師活動状況	…… 3 0
2 看護学生等保健所実習指導	…… 3 0
3 医師臨床研修受入状況	…… 3 0

基本事業12102 救急・へき地等の医療の確保

1 地域救急医療対策事業	…… 3 1
2 救急告示医療機関	…… 3 2

基本事業12103 医療の質の向上

1 医務	…… 3 3
------	--------

施策123 こころと身体の健康対策の推進

基本事業12301 健康づくり活動の推進

- 1 健康食育推進事業 …… 3 5
- 2 桑名保健所管内地域・職域連携推進事業 …… 3 8
- 3 たばこ対策 …… 3 9

基本事業12302 こころの健康づくりの推進

- 1 こころの健康づくり（自殺予防対策）研修会 …… 4 0
- 2 啓発活動事業 …… 4 0
- 3 人材育成事業 …… 4 0

基本事業12303 生活習慣病・難病対策の推進

- 1 原子爆弾被爆者対策事業 …… 4 1
- 2 難病在宅ケア事業 …… 4 2
- 3 特定疾患治療研究事業 …… 4 3
- 4 特定医療費（指定難病）助成事業 …… 4 5
- 5 肝炎治療特別促進事業 …… 4 9
- 6 健康増進事業 …… 5 0
- 7 骨髄バンク …… 5 0
- 8 臓器移植啓発事業 …… 5 0
- 9 ハンセン病啓発事業 …… 5 0

施策134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保

基本事業13401 薬物乱用防止対策の推進

- 1 薬物乱用防止対策 …… 5 1

基本事業13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保

- 1 薬事 …… 5 2
- 2 献血推進 …… 5 3

基本事業13403 生活衛生営業の衛生水準の確保

- 1 生活衛生 …… 5 4

基本事業13404 人と動物との共生環境づくり

- 1 狂犬病予防、動物愛護管理 …… 5 5
- 2 動物愛護に関する啓発 …… 5 6
- 3 犬・猫の譲渡事業 …… 5 6
- 4 動物取扱業 …… 5 6

施策142 障がい者の自立と共生

基本事業14204 精神障がい者の保健医療の確保

- 1 精神保健医療対策事業 …… 5 7

基本事業14205 障がい者の社会参加環境づくり

- 1 精神障がい者地域生活支援事業 …… 5 8
- 2 精神障がい者社会復帰推進事業 …… 5 8

施策232 子育て支援策の推進

基本事業23202 母子保健対策の推進

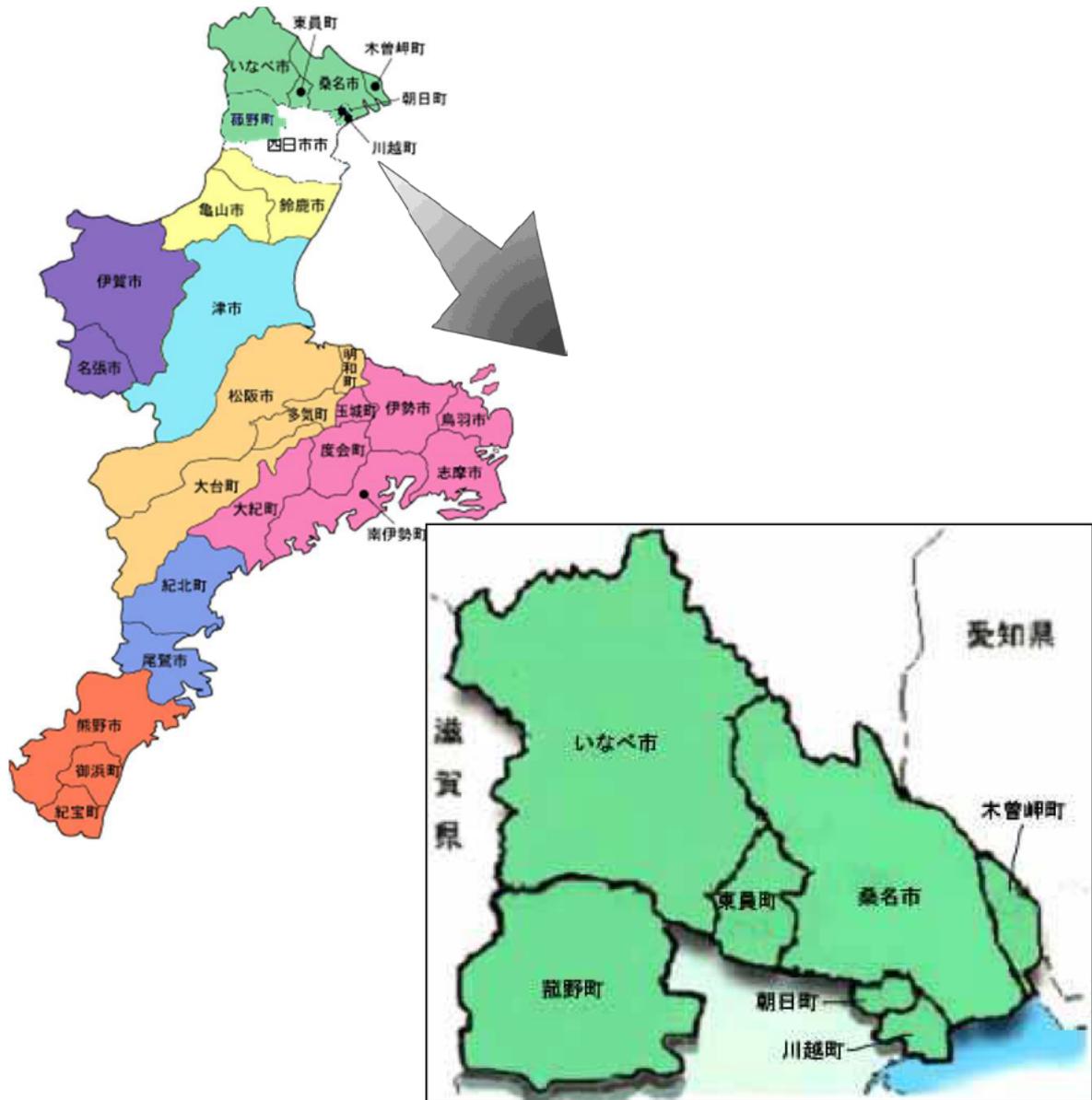
- 1 母子保健対策事業 …… 6 0
- 2 母子医療対策事業 …… 6 1
- 3 母体保護事業 …… 6 2

桑名保健所の沿革

…… 6 3

1 管内概況

(1) 管内略図



(2) 桑名保健所 (桑名庁舎)

ア 位置図



イ 詳細位置図



- ウ 交通 JR・近鉄：「桑名駅」から徒歩15分
自動車：◇東名阪自動車道「桑名IC」桑名市方面へ(国道1号を右折)約15分
 ◇国道1号線 (名古屋方面から)市役所前交差点50m先左折
 (四日市方面から)浅川交差点右折すぐ左折
 ◇国道23号線 地藏交差点から 約5分

エ 名称、住所

三重県桑名保健所 (桑名庁舎内)
 〒 511-8567 三重県桑名市中央町5-7-1
 代表電話 0594-24-3621 Fax 0594-24-3692

オ 健康診断・相談等日程

1) 健康相談

	項目	受付時間	備考
火曜日	骨髄バンク登録受付	9:30~11:00	毎週火曜(予約制)
	特定感染症(エイズ含む) 相談・検査	13:00~14:30	毎週火曜
水曜日	精神保健福祉健康相談	13:30~15:30	第4水曜(予約制)
木曜日	感染症健康診断(結核)	14:30~15:00	第1・3木曜(予約制)

(3) 桑名保健所の概要 (平成27年度体制)

● 組織及び所掌事務

所長

長坂 裕二

TEL 0594-24-3621

副所長兼保健衛生室長

松村 義晴

TEL 0594-24-3621

保健衛生室

《総務企画課 7名》

課長 大橋 吉之

TEL 0594-24-3621

- ・医療従事者の免許申請
- ・災害医療 ・衛生統計 ・保健医療計画
- ・医療・保健関係の研修
- ・病院・診療所開設許可(届け) ・医療監視業務

《健康増進課 7名》

課長 板羽 聖治

TEL 0594-24-3625

- ・感染症(発生動向調査)対策
- ・結核医療・予防 ・エイズ相談・検査
- ・ヘルシーピープルみえ・21
- ・保健栄養対策 ・歯科保健
- ・こころの健康づくり

《地域保健課 9名》

課長 田中 裕子

TEL 0594-24-3620

- ・難病、特定医療費(指定難病)助成事業
- ・母子保健
- ・精神保健福祉
- ・特定不妊治療費助成事業
- ・原子爆弾被害者対策

《衛生指導課 10名》

課長 樋口 奈津子

TEL 0594-24-3623

- ・食品衛生 ・動物愛護推進
- ・医薬品、毒劇物 ・墓地及び火葬場
- ・旅館、公衆浴場、興行場 ・献血、骨髄バンク登録推進
- ・理容、美容、クリーニング(免許申請・調理師免許含む)
- ・大規模食品販売業・大量調理施設・製造業監視指導
- ・食品表示

職種別職員数

一般事務等	8	名
医師	1	名
獣医師	6	名
薬剤師	4	名
保健師	9	名
診療放射線技師	2	名
臨床検査技師	3	名
管理栄養士	2	名
合計	35	名

(4) 管内の状況

ア 市町の面積・世帯数及び人口の状況

資料：三重県戦略企画部統計課

種別 市町	平成22年国勢調査		平成26年10月1日現在				世帯数の伸び率	人口の伸び率
	世帯数	総人口	面積 (km ²)	世帯数	総人口	人口密度 (人/km ²)		
計	100,885	282,097	516.16	105,856	283,303	548.9	104.9%	100.4%
桑名市	51,525	140,290	136.61	53,963	140,907	1,031.5	104.7%	100.4%
いなべ市	15,972	45,684	219.58	16,718	45,249	206.1	104.7%	99.0%
木曾岬町	2,250	6,855	15.72	2,213	6,468	411.5	98.4%	94.4%
東員町	8,580	25,661	22.66	8,876	25,467	1,123.9	103.4%	99.2%
菰野町	13,568	39,978	106.89	14,393	40,325	377.3	106.1%	100.9%
朝日町	3,389	9,626	5.99	3,662	10,270	1,714.5	108.1%	106.7%
川越町	5,601	14,003	8.71	6,031	14,617	1,678.2	107.7%	104.4%
三重県	704,607	1,854,724	5,777.35	721,344	1,820,491	315.1	102.4%	98.2%

イ 管内市町の状況

平成15年12月1日

北勢町、員弁町、大安町、藤原町が合併し、いなべ市となる。

平成16年12月6日

桑名市、多度町、長島町が合併し、桑名市となる。

平成20年4月1日

菰野町、朝日町、川越町が管内となる。

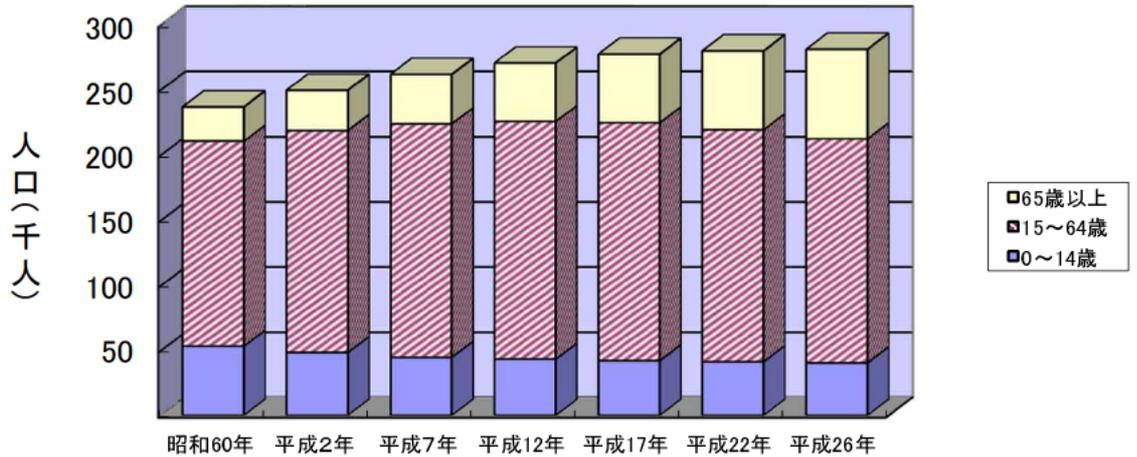


ウ 管内人口の推移

資料：三重県戦略企画部統計課 (各年10月1日現在人口)

	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成26年 2014年
計	249,533	261,687	270,433	277,419	282,097	283,303
桑名市	124,042	129,595	134,856	138,963	140,290	140,907
いなべ市	43,882	45,746	45,630	46,446	45,684	45,249
木曽岬町	7,167	7,231	7,172	6,965	6,855	6,468
東員町	25,447	26,235	26,305	25,897	25,661	25,467
菰野町	32,263	35,117	37,972	38,986	39,978	40,325
朝日町	6,744	6,900	6,716	7,114	9,626	10,270
川越町	9,988	10,863	11,782	13,048	14,003	14,617

桑名管内(菰野、朝日、川越含む)の3区分別人口割合の推移

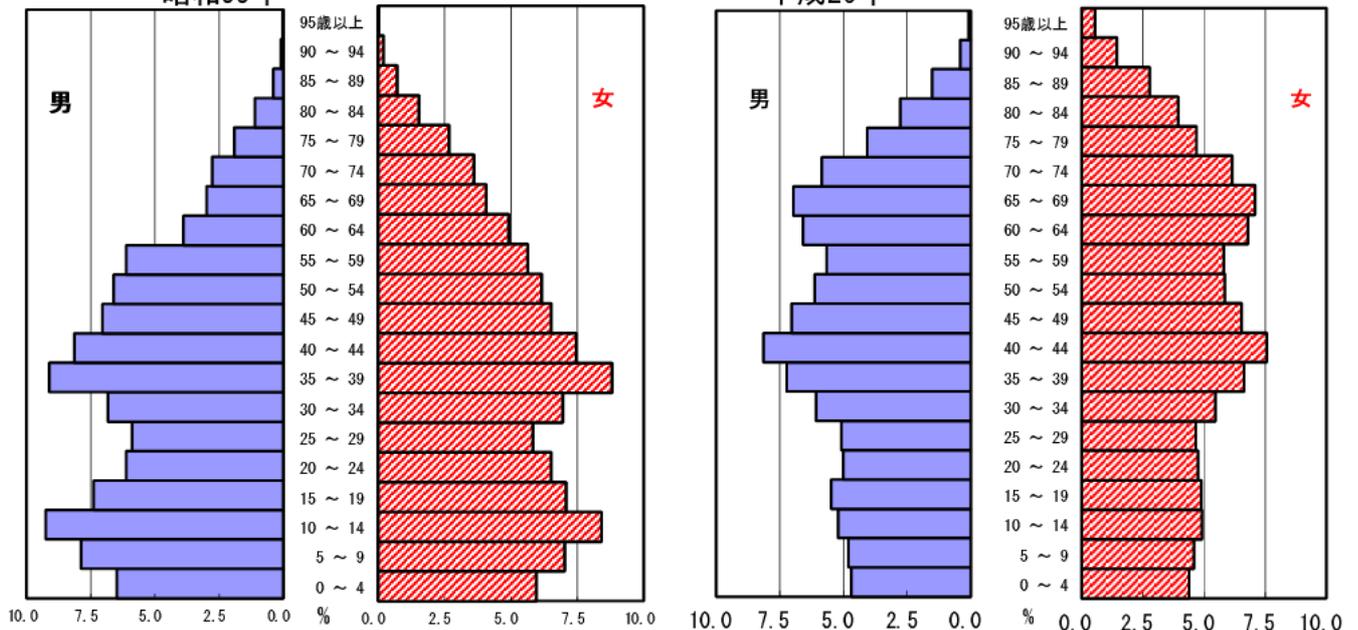


桑名市及びいなべ市の平成12年以前については、合併があったものとして計算しています。

【管内の人口ピラミッド】

昭和55年

平成26年



エ 管内市町の人口構成

資料：三重県戦略企画部統計課

(平成26年10月1日現在)

(平成26年10月1日現在)

市町村名	総人口 ※1	年齢区分別人口 (年齢不詳を除く)			少年人口 (18歳未満人口)				
		年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	計
管内	283,303	40,505	171,876	68,559	15,466	16,234	8,805	8,757	49,262
桑名市	140,907	19,845	85,221	34,008	7,637	7,906	4,302	4,396	24,241
いなべ市	45,249	5,987	27,934	11,314	2,235	2,376	1,376	1,430	7,417
木曾岬町	6,468	725	3,892	1,851	244	305	176	173	898
東員町	25,467	3,469	15,277	6,668	1,313	1,389	767	698	4,167
菰野町	40,325	5,900	24,141	10,033	2,193	2,355	1,352	1,376	7,276
朝日町	10,270	2,225	6,046	1,956	838	1,027	360	257	2,482
川越町	14,617	2,354	9,365	2,729	1,006	876	472	427	2,781
三重県	1,820,491	240,263	1,076,257	491,799	90,857	96,673	52,733	54,651	294,914

※1 総人口には年齢不詳を含む。

(平成26年10月1日現在)

(平成26年10月1日現在)

	年齢区分別割合		
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
管内	14.3	60.7	24.2
桑名市	14.1	60.5	24.1
いなべ市	13.2	61.7	25.0
木曾岬町	11.2	60.2	28.6
東員町	13.6	60.0	26.2
菰野町	14.6	59.9	24.9
朝日町	21.7	58.9	19.0
川越町	16.1	64.1	18.7
三重県	13.2	59.1	27.0

年齢構成指数			
年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化 指数
23.6	39.9	63.5	169.3
23.3	39.9	63.2	171.4
21.4	40.5	61.9	189.0
18.6	47.6	66.2	255.3
22.7	43.6	66.4	192.2
24.4	41.6	66.0	170.1
36.8	32.4	69.2	87.9
25.1	29.1	54.3	115.9
22.3	45.7	68.0	204.7

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0～14歳)}}{\text{生産年齢人口 (15～64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口 (65歳以上)}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

(5) 人口動態統計

ア 人口動態総覧

平成25年の人口動態（確定数）の概況は表1のとおりです。

人口動態確定数は、平成20年から桑名管内には菰野町、朝日町、川越町が含まれたデータを掲載しました。（以下3町を含んだデータで比較）

（ア）出生

管内の出生数は2,428人で前年より15人増加しました。出生率は8.6で、三重県の8.1、全国の8.2と比べると高くなっています。

（イ）死亡

管内の死亡数は2,594人で前年より24人増加しました。死亡率は9.2で、三重県の10.9、全国の10.1を下回っています。

（ウ）乳児死亡

乳児の生存は母体の健康状態や養育条件等の影響を強く受けることから、地域の衛生状態、生活水準を反映する指標として重視されています。管内の乳児死亡数は6人で、前年より7人減少しており、新生児死亡数は4人で前年より1人増加しています。

（エ）死産

管内の死産数は49人で、前年より3人減少しました。
自然死産率は8.9であり人工死産率は10.9です。

（オ）周産期死亡

母体の健康状態に強く影響される指標です。周産期死亡数は9人で前年に比べ1人減少し、周産期死亡率は3.7です。

（カ）婚姻と離婚

婚姻件数は1,348組で前年より40組減少しました。婚姻率は4.8で前年より0.1ポイント減少しました。

離婚件数は504件で前年より51件増加しました。離婚率は1.78で前年より0.18ポイント増加しました。

（キ）自然増加

管内の自然増加率は-0.6ポイントで前年に引き続いてマイナス傾向です。三重県は-2.9ポイントで平成17年から減少傾向です。

イ 死亡の動向

主な死因別の死亡状況を表2、うち悪性新生物部位別死亡状況を表3に示しました。

分母に用いた人口は、三重県データバンクシステムにより算出した平成25年10月1日現在推計人口（外国籍人口含む）によります。

第1位悪性新生物725人、第2位心疾患395人、第3位肺炎256人となっています。

ウ 死亡の場所

管内は全国に比べて病院死亡の割合が5.2ポイント低く、診療所や老人保健施設の割合が高くなっています。

エ 各種グラフ

合計特殊出生率、乳児死亡率、年齢調整死亡率等の推移及び平成25年の年齢調整死亡率上位5疾患をグラフ1に示しました。

表1 人口動態総覧 (実数、率) 市町村別

平成25年確定数

	市町(県・全国)	人口(10月1日)	出生			低体重児(再掲)			死亡			乳児死亡(再掲)			新生児死亡(再掲)	自然増加数	死産			周産期死亡			婚姻	離婚	合計特殊出生率
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女			総数	自然	人工	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡			
実数	全国	125,704,000	1,029,816	527,657	502,159	98,624	44,697	53,927	1,268,436	658,684	609,752	2,185	1,193	992	1,026	△ 238,620	24,102	10,938	13,164	3,862	3,110	752	660,613	231,383	
	三重県	1,829,063	14,514	7,451	7,063	1,291	585	706	19,690	10,133	9,557	44	31	13	22	△ 5,176	304	143	161	59	41	18	8,844	3,281	
	管内	283,277	2,428	1,233	1,195	213	89	124	2,594	1,344	1,250	6	2	4	4	△ 166	49	22	27	9	6	3	1,348	504	
	桑名市	140,784	1,225	611	614	107	47	60	1,261	652	609	3	0	3	2	△ 36	26	13	13	7	5	2	678	250	
	いなべ市	45,412	333	179	154	30	13	17	511	273	238	2	1	1	2	△ 178	7	3	4	1	0	1	193	73	
	木曽岬町	6,591	30	15	15	6	4	2	54	31	23	0	0	0	0	△ 24	0	0	0	0	0	0	23	11	
	東員町	25,502	179	90	89	17	9	8	187	83	104	0	0	0	0	△ 8	3	0	3	0	0	0	92	30	
	菰野町	40,373	351	171	180	29	8	21	392	208	184	0	0	0	0	△ 41	7	4	3	1	1	0	207	81	
	朝日町	10,125	136	78	58	12	4	8	69	34	35	0	0	0	0	67	3	1	2	0	0	0	65	18	
川越町	14,490	174	89	85	12	4	8	120	63	57	1	1	0	0	54	3	1	2	0	0	0	90	41		
率	全国		8.2	8.6	7.8	95.8	84.7	107.4	10.1	10.8	9.5	2.1	2.3	2.0	1.0	△ 1.9	22.9	10.4	12.5	3.7	3.0	0.7	5.3	1.8	1.43
	三重県		8.1	8.4	7.5	88.9	78.5	100.0	10.9	11.4	10.2	3.0	4.2	1.8	1.5	△ 2.9	20.5	9.7	10.9	4.1	2.8	1.2	4.9	1.8	1.49
	管内		8.6	8.8	8.3	87.7	72.2	103.8	9.2	9.6	8.7	2.5	1.6	3.3	1.6	△ 0.6	19.8	8.9	10.9	3.7	2.5	1.2	4.8	1.8	1.53
	桑名市		8.7	8.8	8.6	87.3	76.9	97.7	9.0	9.4	8.5	2.4	0.0	4.9	1.6	△ 0.3	20.8	10.4	10.4	5.7	4.1	1.6	4.8	1.8	1.54
	いなべ市		7.3	7.8	6.9	90.1	72.6	110.4	11.3	11.9	10.6	6.0	5.6	6.0	6.0	△ 3.9	20.6	8.8	11.8	3.0	0.0	3.0	4.2	1.6	1.42
	木曽岬町		4.6	4.5	4.6	200.0	266.7	133.3	8.2	9.3	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	1.7	0.90
	東員町		7.0	7.2	6.8	95.0	100.0	89.9	7.3	6.6	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	16.5	0.0	16.5	0.0	0.0	0.0	3.6	1.2	1.28
	菰野町		8.7	8.7	8.7	82.6	46.8	116.7	9.7	10.6	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 1.0	19.6	11.2	8.4	2.8	2.8	0.0	5.1	2.0	1.62
	朝日町		13.4	15.4	11.5	88.2	51.3	137.9	6.8	6.7	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	21.6	7.2	14.4	0.0	0.0	0.0	6.4	1.8	2.07
川越町		12.0	12.0	12.0	69.0	44.9	94.1	8.3	8.5	8.0	5.7	11.2	0.0	0.0	3.7	16.9	5.6	11.3	0.0	0.0	0.0	6.2	2.8	1.78	
率の算出方法			人口千対	男子人口千対	女子人口千対	出生千対	男子出生千対	女子出生千対	人口千対	男子人口千対	女子人口千対	出生千対	男子出生千対	女子出生千対	出生千対	人口千対	出産(出生+死産)千対			出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対			人口千対		

△は減を示す。低体重児は出生体重2,500g未満のもの。乳児死亡は生後1年未満の死亡。

新生児死亡は生後4週未満の死亡。早期新生児死亡は生後1週未満の死亡。

死産は妊娠12週以後の死産の出産。後期死産は妊娠22週以後の死産。自然増加は出生数-死亡数。

分母に用いた全国以外の人口は、三重県データバンクシステムにより計算しているため、厚生労働省の公表値と若干異なっています。また、「三重県」の出生率および死亡率の「総数」「婚姻率」「離婚率」については厚生労働省公表の数値を使用しています。

表 2

死亡の動向

(No. 1)

市別主要死因別死亡数・死亡率（人口10万人対）、年齢調整死亡率（人口10万人対）

（平成25年確定数）

		総数			結核			悪性新生物			糖尿病			高血圧性疾患		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	19,690	10,133	9,557	27	16	11	5,229	3,201	2,028	227	110	117	116	37	79
	率	[1076.5]	[1138.1]	[1018.1]	[1.5]	[1.8]	[1.2]	[285.9]	[359.5]	[216.0]	[12.4]	[12.4]	[12.5]	[6.3]	[4.2]	[8.4]
	年齢調整死亡率	374.8	510.1	266.1	0.39	0.63	0.24	119.1	167.1	82.1	4.15	5.24	3.26	1.49	1.46	1.47
管内	死亡数	2,594	1,344	1,250	2	0	2	725	438	287	23	11	12	8	2	6
	率	[915.7]	[960.4]	[872.1]	[0.7]	[0.0]	[1.4]	[255.9]	[313.0]	[200.2]	[8.1]	[7.9]	[8.4]	[2.8]	[1.4]	[4.2]
	年齢調整死亡率	358.3	488.0	254.5	0.23	0.00	0.39	117.2	162.6	82.1	2.93	3.40	2.73	0.78	0.50	1.08
桑名市	死亡数	1,261	652	609	2	0	2	359	207	152	14	5	9	3	1	2
	率	[895.7]	[944.0]	[849.2]	[1.4]	[0.0]	[2.8]	[255.0]	[299.7]	[211.9]	[9.9]	[7.2]	[12.5]	[2.1]	[1.4]	[2.8]
	年齢調整死亡率	358.6	476.2	268.8	0.47	0.00	0.80	117.3	155.7	87.5	3.66	2.93	4.67	0.62	0.52	0.80
いなべ市	死亡数	511	273	238	0	0	0	121	81	40	5	3	2	0	0	0
	率	[1125.3]	[1185.2]	[1063.6]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[266.4]	[351.6]	[178.8]	[11.0]	[13.0]	[8.9]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	396.1	564.2	254.4	0.00	0.00	0.00	113.4	174.6	64.7	4.05	6.55	1.76	0.00	0.00	0.00
木曾岬町	死亡数	54	31	23	0	0	0	25	15	10	0	0	0	0	0	0
	率	[819.3]	[932.6]	[704.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[379.3]	[451.3]	[306.1]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	321.4	469.5	184.9	0.00	0.00	0.00	158.2	214.7	110.8	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
東員町	死亡数	187	83	104	0	0	0	58	34	24	1	1	0	1	0	1
	率	[733.3]	[664.7]	[799.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[227.4]	[272.3]	[184.4]	[3.9]	[8.0]	[0.0]	[3.9]	[0.0]	[7.7]
	年齢調整死亡率	268.4	308.3	230.5	0.00	0.00	0.00	98.8	124.1	76.6	1.49	3.92	0.00	0.83	0.00	1.15
菰野町	死亡数	392	208	184	0	0	0	108	72	36	2	1	1	1	0	1
	率	[970.9]	[1062.9]	[884.4]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[267.5]	[367.9]	[173.0]	[5.0]	[5.1]	[4.8]	[2.5]	[0.0]	[4.8]
	年齢調整死亡率	373.5	545.4	236.2	0.00	0.00	0.00	124.2	187.7	76.7	1.54	2.39	0.59	0.44	0.00	0.59
朝日町	死亡数	69	34	35	0	0	0	18	7	11	0	0	0	2	0	2
	率	[681.5]	[670.9]	[692.1]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[177.8]	[138.1]	[217.5]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[19.8]	[0.0]	[39.5]
	年齢調整死亡率	369.5	491.5	252.7	0.00	0.00	0.00	136.9	158.1	112.1	0.00	0.00	0.00	9.69	0.00	17.48
川越町	死亡数	120	63	57	0	0	0	36	22	14	1	1	0	1	1	0
	率	[828.2]	[852.7]	[802.6]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[248.4]	[297.8]	[197.1]	[6.9]	[13.5]	[0.0]	[6.9]	[13.5]	[0.0]
	年齢調整死亡率	383.2	543.2	268.5	0.00	0.00	0.00	128.7	186.1	93.3	1.73	6.33	0.00	1.73	6.33	0.00

死因別死亡率＝

死因別死亡数

人口

×100,000

年齢調整死亡率＝

〔観察集団の各年齢階級の死亡率×基準人口集団のその年齢階級の人口〕の各年齢階級の総和
基準となる人口集団の総和（昭和60年モデル人口）

×100,000

表 2

(No.2)

(平成25年確定数)

		心疾患 (高血圧性を除く)			脳血管疾患			大動脈瘤及び解離			肺炎			慢性閉塞性肺疾患		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	2,936	1,372	1,564	1,857	859	998	281	155	126	1,823	1,024	799	266	218	48
	率	[160.5]	[154.1]	[166.6]	[101.5]	[96.5]	[106.3]	[15.4]	[17.4]	[13.4]	[99.7]	[115.0]	[85.1]	[14.5]	[24.5]	[5.1]
	年齢調整死亡率	50.8	67.0	36.8	30.6	40.0	22.9	5.32	7.67	3.47	26.6	42.1	16.2	4.24	9.04	1.10
管内	死亡数	395	177	218	211	100	111	31	20	11	256	140	116	29	26	3
	率	[139.4]	[126.5]	[152.1]	[74.5]	[71.5]	[77.4]	[10.9]	[14.3]	[7.7]	[90.4]	[100.0]	[80.9]	[10.2]	[18.6]	[2.1]
	年齢調整死亡率	49.9	62.7	38.5	24.5	33.1	17.6	4.26	7.03	2.10	27.4	42.1	18.0	3.85	8.48	0.66
桑名市	死亡数	189	89	100	101	47	54	13	7	6	133	70	63	11	10	1
	率	[134.2]	[128.9]	[139.4]	[71.7]	[68.0]	[75.3]	[9.2]	[10.1]	[8.4]	[94.5]	[101.4]	[87.8]	[7.8]	[14.5]	[1.4]
	年齢調整死亡率	51.7	64.6	41.4	24.8	31.8	18.8	3.33	4.71	2.34	28.8	43.4	19.3	2.64	6.15	0.21
いなべ市	死亡数	90	33	57	48	25	23	6	4	2	49	31	18	9	8	1
	率	[198.2]	[143.3]	[254.7]	[105.7]	[108.5]	[102.8]	[13.2]	[17.4]	[8.9]	[107.9]	[134.6]	[80.4]	[19.8]	[34.7]	[4.5]
	年齢調整死亡率	61.0	69.1	49.2	28.3	44.1	16.3	3.73	7.11	1.04	31.9	52.8	17.3	6.42	14.53	1.24
木曾岬町	死亡数	4	2	2	2	1	1	1	1	0	6	3	3	2	2	0
	率	[60.7]	[60.2]	[61.2]	[30.3]	[30.1]	[30.6]	[15.2]	[30.1]	[0.0]	[91.0]	[90.3]	[91.8]	[30.3]	[60.2]	[0.0]
	年齢調整死亡率	19.2	29.0	6.8	12.1	12.3	12.2	6.98	14.15	0.00	22.4	36.4	10.2	12.80	26.88	0.00
東員町	死亡数	27	6	21	13	7	6	6	5	1	17	9	8	0	0	0
	率	[105.9]	[48.1]	[161.3]	[51.0]	[56.1]	[46.1]	[23.5]	[40.0]	[7.7]	[66.7]	[72.1]	[61.5]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	32.4	19.6	39.5	16.9	24.8	12.8	11.05	21.47	4.35	19.8	30.7	16.0	0.00	0.00	0.00
菰野町	死亡数	57	31	26	33	14	19	2	0	2	38	20	18	4	4	0
	率	[141.2]	[158.4]	[125.0]	[81.7]	[71.5]	[91.3]	[5.0]	[0.0]	[9.6]	[94.1]	[102.2]	[86.5]	[9.9]	[20.4]	[0.0]
	年齢調整死亡率	50.8	81.2	25.8	27.1	35.7	19.1	1.54	0.00	2.64	25.9	40.0	19.0	5.56	12.13	-
朝日町	死亡数	17	11	6	7	3	4	1	1	0	3	1	2	0	0	0
	率	[167.9]	[217.0]	[118.6]	[69.1]	[59.2]	[79.1]	[9.9]	[19.7]	[0.0]	[29.6]	[19.7]	[39.5]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	64.6	106.7	40.6	27.9	32.2	22.9	5.10	10.62	0.00	11.4	13.1	7.6	0.00	0.00	0.00
川越町	死亡数	11	5	6	7	3	4	2	2	0	10	6	4	3	2	1
	率	[75.9]	[67.7]	[84.5]	[48.3]	[40.6]	[56.3]	[13.8]	[27.1]	[0.0]	[69.0]	[81.2]	[56.3]	[20.7]	[27.1]	[14.1]
	年齢調整死亡率	23.1	34.4	17.5	15.7	21.3	12.7	7.04	16.46	0.00	28.5	45.6	18.5	7.76	12.66	8.19

表 2

(No.3)

(平成25年確定数)

		喘息			肝疾患			腎不全			老衰			不慮の事故			自殺		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	22	8	14	195	119	76	431	222	209	1,555	371	1,184	687	401	286	348	245	103
	率	[1.2]	[0.9]	[1.5]	[10.7]	[13.4]	[8.1]	[23.6]	[24.9]	[22.3]	[85.0]	[41.7]	[126.1]	[37.6]	[45.0]	[30.5]	[19.0]	[27.5]	[11.0]
	年齢調整死亡率	0.42	0.47	0.36	5.51	8.47	2.69	6.67	9.30	5.01	16.1	12.7	17.4	17.1	24.9	10.2	17.1	25.3	9.0
管内	死亡数	4	1	3	18	13	5	44	24	20	230	63	167	118	73	45	55	39	16
	率	[1.4]	[0.7]	[2.1]	[6.4]	[9.3]	[3.5]	[15.5]	[17.2]	[14.0]	[81.2]	[45.0]	[116.5]	[41.7]	[52.2]	[31.4]	[19.4]	[27.9]	[11.2]
	年齢調整死亡率	0.66	0.69	0.52	3.13	5.55	1.03	5.02	7.62	3.25	18.9	16.9	19.6	22.0	34.1	11.2	17.1	25.6	8.5
桑名市	死亡数	1	1	0	10	7	3	20	12	8	98	28	70	64	38	26	20	14	6
	率	[0.7]	[1.4]	[0.0]	[7.1]	[10.1]	[4.2]	[14.2]	[17.4]	[11.2]	[69.6]	[40.5]	[97.6]	[45.5]	[55.0]	[36.3]	[14.2]	[20.3]	[8.4]
	年齢調整死亡率	0.69	1.43	0.00	4.00	7.02	1.44	5.30	8.19	3.30	17.1	15.7	17.3	23.7	33.9	15.5	12.8	19.6	6.1
いなべ市	死亡数	1	0	1	2	2	0	11	7	4	52	15	37	24	14	10	14	7	7
	率	[2.2]	[0.0]	[4.5]	[4.4]	[8.7]	[0.0]	[24.2]	[30.4]	[17.9]	[114.5]	[65.1]	[165.3]	[52.8]	[60.8]	[44.7]	[30.8]	[30.4]	[31.3]
	年齢調整死亡率	0.37	0.00	0.52	1.73	3.99	0.00	4.95	9.97	2.09	23.3	20.4	25.1	27.5	43.8	9.5	22.4	24.8	18.9
木曾岬町	死亡数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	2	3	2	1	1	2	2	0
	率	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[15.2]	[30.1]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[75.9]	[60.2]	[91.8]	[30.3]	[30.1]	[30.6]	[30.3]	[60.2]	[0.0]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	5.65	12.30	0.00	0.00	0.00	0.00	12.9	21.4	10.2	20.3	29.2	10.4	31.5	61.0	0.0
東員町	死亡数	2	0	2	3	2	1	6	2	4	13	1	12	10	6	4	3	2	1
	率	[7.8]	[0.0]	[15.4]	[11.8]	[16.0]	[7.7]	[23.5]	[16.0]	[30.7]	[51.0]	[8.0]	[92.2]	[39.2]	[48.1]	[30.7]	[11.8]	[16.0]	[7.7]
	年齢調整死亡率	2.97	0.00	4.79	4.80	7.90	1.15	8.42	7.30	8.52	10.7	3.0	13.8	16.0	27.1	5.8	5.4	6.8	3.5
菰野町	死亡数	0	0	0	2	1	1	4	1	3	46	13	33	12	10	2	11	9	2
	率	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[5.0]	[5.1]	[4.8]	[9.9]	[5.1]	[14.4]	[113.9]	[66.4]	[158.6]	[29.7]	[51.1]	[9.6]	[27.2]	[46.0]	[9.6]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	2.23	2.98	1.38	2.82	2.39	2.57	24.4	23.6	25.9	15.3	30.7	3.2	28.1	41.3	15.0
朝日町	死亡数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	3	2	1	1	3	3	0
	率	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[39.5]	[19.7]	[59.3]	[19.8]	[19.7]	[19.8]	[29.6]	[59.2]	[0.0]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	10.5	8.5	11.4	10.8	13.1	7.8	34.9	66.4	0.0
川越町	死亡数	0	0	0	0	0	0	3	2	1	12	3	9	4	3	1	2	2	0
	率	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[20.7]	[27.1]	[14.1]	[82.8]	[40.6]	[126.7]	[27.6]	[40.6]	[14.1]	[13.8]	[27.1]	[0.0]
	年齢調整死亡率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.25	15.00	2.38	25.3	21.9	24.6	25.0	40.0	10.5	16.3	32.2	0.0

表3 市別悪性新生物死亡数・死亡率（人口10万人対）、年齢調整死亡率（人口10万人対）
 (No. 1)

(平成25年確定数)

		悪性新生物 総数			内訳														
					食道			胃			結腸			直腸S状結腸移行部及び直腸			肝及び肝内胆管		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	5,229	3,201	2,028	133	113	20	726	490	236	450	228	222	249	155	94	365	232	133
	率	[285.9]	[359.5]	[216.0]	[7.3]	[12.7]	[2.1]	[39.7]	[55.0]	[25.1]	[24.6]	[25.6]	[23.6]	[13.6]	[17.4]	[10.0]	[20.0]	[26.1]	[14.2]
	年齢調整死亡率	119.1	167.1	82.1	3.18	6.21	0.63	16.5	26.1	8.8	9.63	11.68	8.10	6.32	8.60	4.51	8.0	12.2	4.4
管内	死亡数	725	438	287	22	21	1	118	80	38	67	36	31	32	24	8	53	35	18
	率	[255.9]	[313.0]	[200.2]	[7.8]	[15.0]	[0.7]	[41.7]	[57.2]	[26.5]	[23.7]	[25.7]	[21.6]	[11.3]	[17.2]	[5.6]	[18.7]	[25.0]	[12.6]
	年齢調整死亡率	117.2	162.6	82.1	3.78	7.76	0.35	19.8	31.4	10.0	10.7	13.3	8.5	5.8	9.4	2.7	8.7	13.9	4.0
桑名市	死亡数	359	207	152	7	7	0	64	38	26	40	19	21	18	15	3	23	17	6
	率	[255.0]	[299.7]	[211.9]	[5.0]	[10.1]	[0.0]	[45.5]	[55.0]	[36.3]	[28.4]	[27.5]	[29.3]	[12.8]	[21.7]	[4.2]	[16.3]	[24.6]	[8.4]
	年齢調整死亡率	117.3	155.7	87.5	2.30	5.09	0.00	23.5	33.0	15.0	11.7	13.2	10.6	7.1	12.6	1.9	7.7	13.2	2.9
いなべ市	死亡数	121	81	40	4	4	0	18	14	4	10	9	1	5	4	1	16	10	6
	率	[266.4]	[351.6]	[178.8]	[8.8]	[17.4]	[0.0]	[39.6]	[60.8]	[17.9]	[22.0]	[39.1]	[4.5]	[11.0]	[17.4]	[4.5]	[35.2]	[43.4]	[26.8]
	年齢調整死亡率	113.4	174.6	64.7	5.15	10.43	0.00	14.0	27.9	3.3	10.0	20.0	1.7	4.1	8.6	0.5	16.7	25.7	7.2
木曾岬町	死亡数	25	15	10	0	0	0	4	3	1	4	2	2	2	1	1	0	0	0
	率	[379.3]	[451.3]	[306.1]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[60.7]	[90.3]	[30.6]	[60.7]	[60.2]	[61.2]	[30.3]	[30.1]	[30.6]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	158.2	214.7	110.8	0.00	0.00	0.00	25.3	38.8	13.8	28.4	29.1	28.6	11.8	12.3	12.6	0.0	0.0	0.0
東員町	死亡数	58	34	24	4	3	1	9	6	3	3	1	2	1	1	0	3	1	2
	率	[227.4]	[272.3]	[184.4]	[15.7]	[24.0]	[7.7]	[35.3]	[48.1]	[23.0]	[11.8]	[8.0]	[15.4]	[3.9]	[8.0]	[0.0]	[11.8]	[8.0]	[15.4]
	年齢調整死亡率	98.8	124.1	76.6	7.79	11.30	4.35	13.6	23.1	3.4	4.5	3.4	4.7	1.9	3.4	0.0	4.5	3.9	4.8
菟野町	死亡数	108	72	36	5	5	0	16	13	3	4	3	1	4	3	1	8	6	2
	率	[267.5]	[367.9]	[173.0]	[12.4]	[25.6]	[0.0]	[39.6]	[66.4]	[14.4]	[9.9]	[15.3]	[4.8]	[9.9]	[15.3]	[4.8]	[19.8]	[30.7]	[9.6]
	年齢調整死亡率	124.2	187.7	76.7	5.66	12.38	0.00	18.9	34.3	6.5	5.3	10.1	0.6	5.9	7.5	5.2	8.7	15.2	4.1
朝日町	死亡数	18	7	11	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	率	[177.8]	[138.1]	[217.5]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[9.9]	[19.7]	[0.0]	[9.9]	[19.7]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[9.9]	[0.0]	[19.8]
	年齢調整死亡率	136.9	158.1	112.1	0.00	0.00	0.00	15.0	30.0	0.0	10.0	21.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	3.8
川越町	死亡数	36	22	14	2	2	0	6	5	1	5	1	4	2	0	2	2	1	1
	率	[248.4]	[297.8]	[197.1]	[13.8]	[27.1]	[0.0]	[41.4]	[67.7]	[14.1]	[34.5]	[13.5]	[56.3]	[13.8]	[0.0]	[28.2]	[13.8]	[13.5]	[14.1]
	年齢調整死亡率	128.7	186.1	93.3	7.04	16.46	0.00	19.7	37.8	10.5	22.90	9.10	36.50	6.03	0.00	10.57	7.0	8.7	5.6

表3

(No. 2)

(平成25年確定数)

		内訳																	
		胆のう及びその他の胆道			膵			気管、気管及び肺			乳房			子宮			白血病		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
三重県	死亡数	232	118	114	462	243	219	1,195	884	311	170	0	170	/	/	71	106	53	53
	率	[12.7]	[13.3]	[12.1]	[25.3]	[27.3]	[23.3]	[65.3]	[99.3]	[33.1]	[9.3]	[0.0]	[18.1]	/	/	[7.6]	[5.8]	[6.0]	[5.6]
	年齢調整死亡率	4.6	6.0	3.4	10.39	12.89	8.35	26.3	45.1	11.7	5.74	0.00	11.04	/	/	4.30	2.73	3.31	2.18
管内	死亡数	41	22	19	53	25	28	137	98	39	22	0	22	/	/	11	22	13	9
	率	[14.5]	[15.7]	[13.3]	[18.7]	[17.9]	[19.5]	[48.4]	[70.0]	[27.2]	[7.8]	[0.0]	[15.3]	/	/	[7.7]	[7.8]	[9.3]	[6.3]
	年齢調整死亡率	5.2	7.2	3.8	9.0	9.3	9.2	21.2	34.7	10.9	5.1	0.0	9.8	/	/	4.1	3.9	5.3	2.7
桑名市	死亡数	23	11	12	29	15	14	61	42	19	14	0	14	/	/	4	12	7	5
	率	[16.3]	[15.9]	[16.7]	[20.6]	[21.7]	[19.5]	[43.3]	[60.8]	[26.5]	[9.9]	[0.0]	[19.5]	/	/	[5.6]	[8.5]	[10.1]	[7.0]
	年齢調整死亡率	5.8	6.6	5.7	9.6	10.4	9.6	18.3	29.4	10.1	6.2	0.0	11.8	/	/	3.7	3.7	5.5	2.2
いなべ市	死亡数	8	6	2	5	3	2	19	17	2	4	0	4	/	/	3	3	1	2
	率	[17.6]	[26.0]	[8.9]	[11.0]	[13.0]	[8.9]	[41.8]	[73.8]	[8.9]	[8.8]	[0.0]	[17.9]	/	/	[13.4]	[6.6]	[4.3]	[8.9]
	年齢調整死亡率	6.5	12.9	1.0	5.9	8.5	3.1	14.9	31.8	2.7	6.0	0.0	12.4	/	/	5.6	2.2	2.3	1.8
木曾岬町	死亡数	1	1	0	0	0	0	6	3	3	1	0	1	/	/	1	1	1	0
	率	[15.2]	[30.1]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[91.0]	[90.3]	[91.8]	[15.2]	[0.0]	[30.6]	/	/	[30.6]	[15.2]	[30.1]	[0.0]
	年齢調整死亡率	6.2	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0	34.9	43.3	26.4	6.4	0.0	12.2	/	/	13.8	14.7	29.2	0.0
東員町	死亡数	3	2	1	2	2	0	10	8	2	1	0	1	/	/	3	3	2	1
	率	[11.8]	[16.0]	[7.7]	[7.8]	[16.0]	[0.0]	[39.2]	[64.1]	[15.4]	[3.9]	[0.0]	[7.7]	/	/	[23.0]	[11.8]	[16.0]	[7.7]
	年齢調整死亡率	4.2	7.3	1.2	2.7	6.4	0.0	16.2	28.1	4.7	5.0	0.0	9.9	/	/	9.7	8.9	6.7	13.4
菰野町	死亡数	2	1	1	10	2	8	29	20	9	0	0	0	/	/	0	2	2	0
	率	[5.0]	[5.1]	[4.8]	[24.8]	[10.2]	[38.5]	[71.8]	[102.2]	[43.3]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	/	/	[0.0]	[5.0]	[10.2]	[0.0]
	年齢調整死亡率	1.3	2.1	0.6	11.7	4.2	19.1	37.3	53.0	25.7	0.0	0.0	0.0	/	/	0.0	2.5	5.4	0.0
朝日町	死亡数	2	0	2	5	2	3	3	1	2	2	0	2	/	/	0	0	0	0
	率	[19.8]	[0.0]	[39.5]	[49.4]	[39.5]	[59.3]	[29.6]	[19.7]	[39.5]	[19.8]	[0.0]	[39.5]	/	/	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
	年齢調整死亡率	5.2	0.0	7.6	40.8	43.1	35.9	25.9	33.2	19.4	19.8	0.0	35.6	/	/	0.0	0.0	0.0	0.0
川越町	死亡数	2	1	1	2	1	1	9	7	2	0	0	0	/	/	0	1	0	1
	率	[13.8]	[13.5]	[14.1]	[13.8]	[13.5]	[14.1]	[62.1]	[94.7]	[28.2]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	/	/	[0.0]	[6.9]	[0.0]	[14.1]
	年齢調整死亡率	8.1	8.7	8.2	5.52	8.67	2.38	26.9	58.1	4.8	0.00	0.00	0.00	/	/	0.00	3.79	0.00	6.74

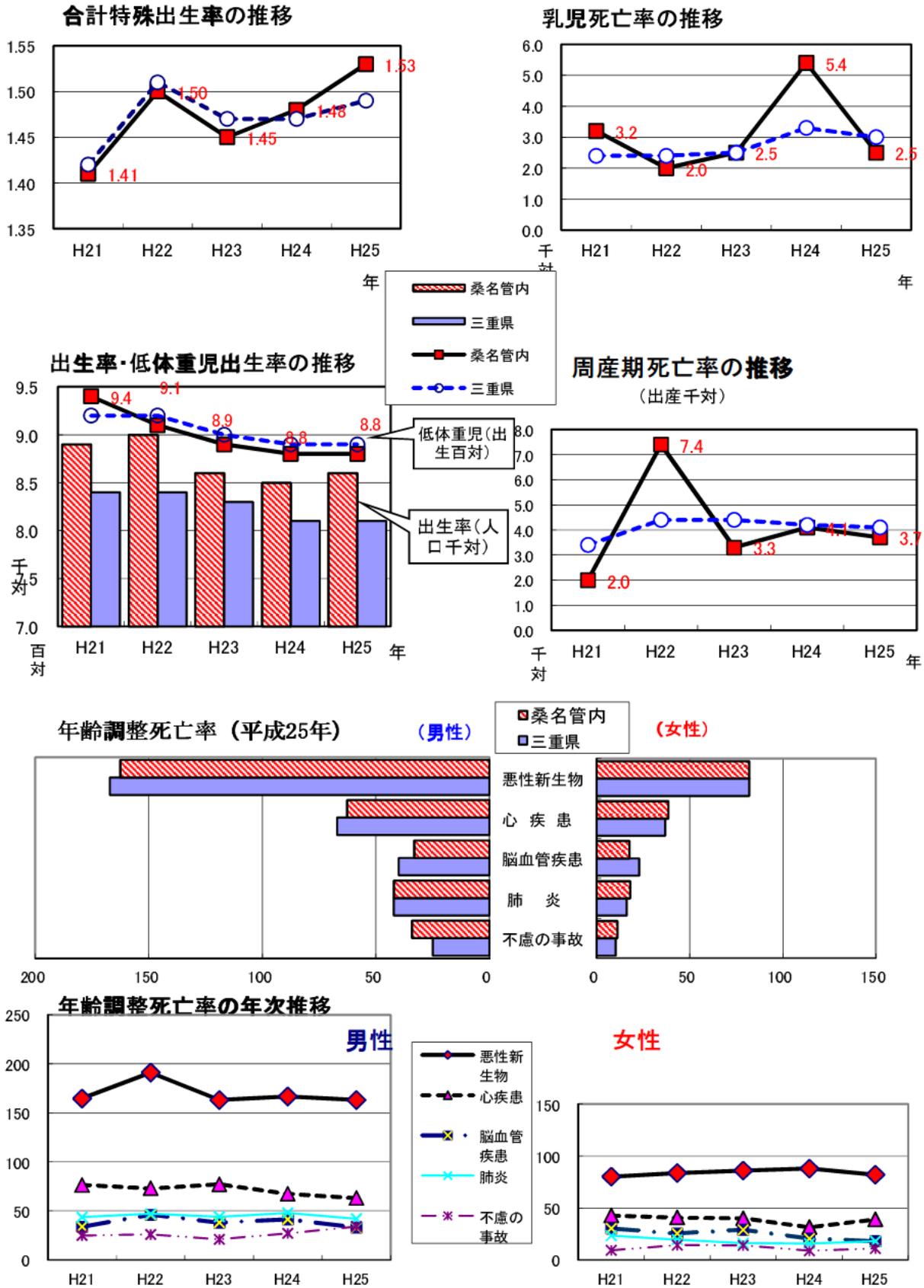
表4 死亡の場所

平成25年確定数

	保健所 ・市町	総数	施設内						施設外		
			総数	病院	診療所	介護老人保健施設	助産所	老人ホーム	総数	自宅	その他
実 数	全国	1,268,436	1,077,685	958,755	27,942	24,069	0	66,919	190,751	163,049	27,702
	三重県	19,690	16,595	14,268	376	693	0	1,258	3,095	2,590	505
	管内	2,594	2,237	1,825	168	113	0	131	357	300	57
	桑名市	1,261	1,083	833	120	54	0	76	178	142	36
	いなべ市	511	454	415	12	13	0	14	57	48	9
	木曾岬町	54	46	42	1	1	0	2	8	7	1
	東員町	187	160	133	20	6	0	1	27	25	2
	菰野町	392	333	275	4	32	0	22	59	53	6
	朝日町	69	59	47	7	2	0	3	10	10	0
川越町	120	102	80	4	5	0	13	18	15	3	
率 (%)	全国	100.0	85.0	75.6	2.2	1.9	0.0	5.3	15.0	12.9	2.2
	三重県	100.0	84.3	72.5	1.9	3.5	0.0	6.4	15.7	13.2	2.6
	管内	100.0	86.2	70.4	6.5	4.4	0.0	5.1	13.8	11.6	2.2
	桑名市	100.0	85.9	66.1	9.5	4.3	0.0	6.0	14.1	11.3	2.9
	いなべ市	100.0	88.8	81.2	2.3	2.5	0.0	2.7	11.2	9.4	1.8
	木曾岬町	100.0	85.2	77.8	1.9	1.9	0.0	3.7	14.8	13.0	1.9
	東員町	100.0	85.6	71.1	10.7	3.2	0.0	0.5	14.4	13.4	1.1
	菰野町	100.0	84.9	70.2	1.0	8.2	0.0	5.6	15.1	13.5	1.5
	朝日町	100.0	85.5	68.1	10.1	2.9	0.0	4.3	14.5	14.5	0.0
川越町	100.0	85.0	66.7	3.3	4.2	0.0	10.8	15.0	12.5	2.5	

グラフ1

平成20年からは、桑名管内に菰野町、川越町、朝日町が含まれます。



2 三重県民カビジョン

三重県民カビジョン・行動計画における事業実績

1 三重県民カビジョン・行動計画における事業実績

桑名保健所・各課における事業実績を「三重県民カビジョン・行動計画」による「政策－施策－基本事業」の順に並び替えました。

従って「三重県民カビジョン・行動計画」のうち保健所業務に関係しない部分は省略してあります。また、同じ基本事業で複数の課で担当している事業もあります。

2 三重県民カビジョン・行動計画の政策体系

(政策展開の基本方向<三つの柱>)

掲載ページ

第1節 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

(政策)

(施策)

1 危機管理 ～災害等の危機から命と暮らしを守る社会～

111 防災・減災対策の推進(基本事業11105)

…17

112 治山・治水・海岸保全の推進

113 食の安全・安心の確保(基本事業11301)

…18

114 感染症の予防と体制の整備(基本事業11402、11403)

…22

2 命を守る ～健康な暮らしと安心できる医療体制～

121 医師確保と医療体制の整備(基本事業12101～12103)

…30

122 がん対策の推進

123 心と身体の健康対策の推進(基本事業12301～12303)

…35

3 暮らしを守る ～誰もが安全で安心して暮らせる地域社会～

131 犯罪に強いまちづくり

132 交通安全のまちづくり

133 消費生活の安全の確保

134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保(基本事業13401～13404)

…51

4 共生の福祉社会 ～地域の中で誰もが共に支え合う社会～

141 介護基盤整備などの高齢者福祉の充実

142 障がい者の自立と共生(基本事業14204、14205)

…57

143 支え合いの福祉社会づくり

5 環境を守る持続可能な社会 ～自然を大切に、環境への負荷が少ない社会～ (施策については省略)

第2節 「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

(政策)

(施策)

1 人権の尊重と多様性を認め合う社会 ～一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会～ (施策については省略)

2 教育の充実 ～一人ひとりの個性と能力を育む教育～ (施策については省略)

3 子どもの育ちと子育て ～子どもが豊かに育つことができる社会～

231 子どもの育ちを支える家庭・地域づくり

232 子育て支援策の推進(基本事業23202)

…60

233 児童虐待の防止と社会的養護の推進

4 スポーツの推進 ～夢と感動を育む社会～ (施策については省略)

5 地域との連携 ～誰もが魅力を感じ、活力のある地域～ (施策については省略)

6 文化と学び ～地域の誇りと心の豊かさを育む社会～ (施策については省略)

第3節 「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

(政策)

(施策)

1 農林水産業 ～食や暮らしと地域経済を支える農林水産業～ (施策については省略)

2 強じんて多様な産業 ～地域に活力と雇用を生み出す産業構造への転換～ (施策については省略)

3 雇用の確保 ～誰もが働ける社会～ (施策については省略)

4 世界に開かれた三重 ～観光産業の振興と国際戦略の展開～ (施策については省略)

5 安心と活力を生み出す基盤 ～県民の生活や経済活動を支える基盤の整備～ (施策については省略)

第1節 「守る」 ～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

政策1 危機管理 ～災害等の危機から命と暮らしを守る社会～

施策111 防災・減災対策の推進

基本事業11105 災害医療体制の整備

(主担当:総務企画課)

主な取組内容

1. 災害拠点病院・薬局等との連携を図ります。

1 災害拠点病院

災害拠点病院とは、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度診療、被災地からの重症患者の受入れ及び広域搬送への対応、医療救護班の派遣、地域の医療機関への応急用資材の貸し出しを担う病院として、三重県知事が指定している病院です。

管内災害拠点病院	住所	電話番号	指定日
三重県厚生農業協同組合連合会 いなべ総合病院	いなべ市北勢町阿下喜771	0594 (72) 2000	平成19年12月26日



http://www.miekosei.or.jp/4_ish/ いなべ総合病院ホームページより

2 災害支援病院

災害支援病院とは、災害時に災害拠点病院を支援し補完する機能を担う病院です。主として被災地内の傷病者の受入及び搬送にあたる等地域における必要な医療救護活動を行い、三重県知事が指定しています。

管内災害拠点病院	住所	電話番号	指定日
桑名東医療センター	桑名市寿町三丁目11番地	0594 (22) 7111	平成25年12月17日
青木記念病院	桑名市中央町五丁目7番地	0594 (23) 2415	平成25年12月17日

3 地域災害拠点薬局

地域災害拠点薬局を指定することにより、大規模災害発生時に必要な医薬品等の確保及び供給を図ります。

(1) 桑名地域災害拠点薬局

名称	住所	電話番号	指定日
モリワキ薬局	員弁郡東員町城山3-21-10	0594 (76) 7898	平成18年4月1日

(2) 四日市地域災害拠点薬局

名称	住所	電話番号	指定日
医薬分業推進支援センター	四日市市本町9-8	059 (354) 8440	平成18年4月1日

施策113 食の安全・安心の確保
基本事業11301 食品の安全・安心の確保

(主担当:衛生指導課)

主な取組内容

1. 食品の製造、流通および販売にいたるまでの衛生、規格等について監視、指導、検査を実施することにより、食生活の安全確保に努めます。
2. 食品表示の適正化を図るため監視指導を進めます。

1 食品衛生

飲食に起因する衛生上の危害を未然に防止し、管内で流通する食品の安全・安心を確保するため、食品営業施設の夏期・年末の一斉監視、学校等の給食施設、製造業施設等の監視を実施するとともに、大規模観光地の飲食店（ホテル、レジャー施設等）に対し、施設監視、講習会の開催や収去検査等を実施し、重点的に食中毒発生防止対策の強化を図った。また、各施設の食品衛生責任者等に対する食品衛生講習会、その他専門業種・大規模施設従事者に対する衛生講習会を開催することにより、食品衛生思想の普及向上に努めた。

さらに、「食品の規格基準」や「三重県食品の衛生管理指標」に基づく収去検査や違反食品の調査等を実施し、違反食品を発見した場合は、販売者及び製造者に対し、原因の追及を行い、違反食品の発生防止対策に努めた。

(1) 食品関係施設数及び監視状況

ア 許可を要する施設

業種	項目	施設数	新規	更新	廃業	監視数
飲食店営業		2,512	205	499	474	925
菓子(パンを含む)製造業		446	30	37	33	208
乳処理業		1	0	0	0	2
乳製品製造業		3	0	0	0	6
魚介類販売業		302	27	29	23	136
魚介類せり売営業		1	0	0	0	0
魚肉ねり製品製造業		7	0	0	0	8
食品の冷凍又は冷蔵業		25	3	1	1	13
かん詰びん詰食品製造業		6	1	0	0	2
喫茶店営業		766	112	27	64	49
あん類製造業		2	1	0	0	4
アイスクリーム類製造業		100	8	11	10	52
乳類販売業		420	30	41	33	145
食肉処理業		12	0	1	0	7
食肉販売業		309	26	31	20	145
食肉製品製造業		2	0	0	0	3
食用油脂製造業		1	0	0	0	1
みそ製造業		17	2	0	0	3
醤油製造業		6	0	0	0	3
ソース類製造業		5	0	0	0	6
酒類製造業		7	0	0	0	1
豆腐製造業		11	1	0	0	1
納豆製造業		2	1	0	0	3
めん類製造業		18	3	1	3	4
そうざい製造業		49	4	3	2	26
添加物製造業		4	1	1	0	3
清涼飲料水製造業		13	1	0	0	5
冰雪製造業		0	0	0	0	0
冰雪販売業		2	0	0	0	1
総数		5,049	456	682	663	1,762

イ 許可を要しない届出施設

業 種		施設数	監視数
許可を要しない食品若しくは 添加物の製造・販売業		356	332
器具・容器若しくはおもちゃの製造業		0	0
給 食 施 設	学校	46	3
	病院・診療所	33	13
	事業所	35	3
	その他	182	28
計		652	379

(2) 啓発活動

ア 日程

○食品衛生月間

- 平成26年8月1日（金） 15:30～ 長島スーパーランド
 平成26年8月4日（月） 14:00～ イオンタウン菰野
 平成26年8月5日（火） 10:00～ ピアゴ多度
 平成26年8月6日（水） 10:00～ アピタ桑名店
 平成26年8月7日（木） 13:00～ イオンモール東員

○ノロウイルス食中毒予防啓発事業

- 平成27年1月22日（木） 10:00～ イオンモール東員
 平成27年1月29日（木） 10:00～ アピタ桑名

イ 内容

各地区食品衛生指導員と協働で、啓発チラシ、パンフレット、ウェットティッシュ、ティッシュ等の啓発資材の配布による街頭啓発活動を実施した。

(3) 食中毒事故発生件数

1件

(4) 食品等の収去検査実施状況

ア 食品等の収去及び拭き取り検査結果

収去検体	検査結果 収去検体数	不良検体数	不良理由 (延数)		
			微生物学	化学	その他
魚介類	0	0	0	0	0
魚介類加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	13	0	0	0	0
肉卵類及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	9	0	0	0	0
牛乳及び乳製品	2	0	0	0	0
穀類及びその加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	3	0	0	0	0
野菜類・果物及びその 加工品 (缶詰・びん詰を除く。)	21	0	0	0	0
菓子類	75	16	16	0	0
酒精飲料	0	0	0	0	0
その他の食品	109	6	6	0	0
小計	232	22	22	0	0
保存食	45	8	8	0	0
器具等の拭き取り	44	0	0	0	0
合計	321	30	30	0	0

(5) 免許取得状況

四日市市保健所受付分含む

区分	受験申込者数 (人)	合格者数 (人)
調理師 試験	156	78
製菓衛生師 試験	145	72

(6) 自主衛生管理の促進

「三重県食品の自主衛生管理認定制度」を管内事業者に周知し、制度参加の啓発をおこない、事業者の自主衛生管理を促進した。

管内取組み施設数 9 施設

(7) 食品衛生講習会等

管内食品関係事業者や消費者等に対して、食中毒防止啓発等を目的とした食品衛生講習会を開催した。

実施回数	参加者数
59回	1921名

(8) リスクコミュニケーション

食品の安全・安心の確保について消費者、食品等事業者、行政による意見交換ができる懇話会やフォーラムを開催した。

実施回数	参加者数
4回	123名

2 食品表示等指導相談事業

量販店及び食品製造業を中心に、施設監視、食品収去検査等の際に食品衛生法及びJAS法に基づく表示の確認を行い、必要に応じて指導した。また、表示責任者に対し食品衛生講習会等の機会を捉え適正な表示の周知を行った。

違反が疑われる表示等の発見があった場合には、その通報に基づき必要な調査や指導を行った。

(1) 製造・販売・流通段階における表示の監視指導実施状況

監視指導対象	監視店舗数	指導件数
販売業者（桑名）	137	14
販売業者（四日市市）	3	3
公設市場（北勢市場）	29	1
計	169	18

(2) 表示相談

相談件数	内 訳		
	食衛法	JAS法	その他
85	68	77	22

(3) 食品表示に関する講習会実施状況

実施回数	参加者数
30	859

施策114 感染症の予防と体制の整備
基本事業11402 感染症危機管理体制の整備

(主担当:健康増進課)

主な取組内容

1. 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、患者や家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。

1 感染症の予防事業

感染症発生時において、患者調査と家族、接触者検診の実施および感染拡大防止のための措置を講じた。

(1) 感染症発生状況 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

- ① 一類感染症発生状況 0件
- ② 二類感染症発生状況 (結核を除く) 0件
- ③ 三類感染症発生状況 8件
- ④ 四類感染症発生状況 1件 (レジオネラ症 1件)
- ⑤ 五類感染症発生状況 10件 (浸襲性肺炎球菌感染症5件、アメーバ赤痢2件、ウイルス性肝炎1件、梅毒1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件)

(2) 三類感染症発生状況の推移 (平成22年4月1日～平成27年3月31日)

種別年度 年度	三類感染症				
	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス	腸管出血性大腸菌感染症 (保菌者含む)
H22	—	—	—	—	15
H23	—	—	—	—	3
H24	—	—	—	—	18
H25	—	—	—	—	13
H26	—	1	—	—	7

(3) 行政検査実施状況 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

		医療機関からの依頼	家族及び接触者	菌陰性化検査	計
実検体数		1	13 (0)	16 (3)	29 (3)
三類	コレラ	—	—	—	—
	細菌性赤痢	—	—	—	—
	腸チフス	—	—	—	—
	パラチフス	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌感染症	1	13 (0)	16 (3)	29 (3)
五類	レジオネラ症	—	—	—	—

※ () 内は陽性者延数を再掲 (内数)

(4) 病原体検査実施状況 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

インフルエンザ	麻しん	日本紅斑熱	デング熱	上気道炎	ウイルス性髄膜炎	計
6	1	1	1	5	1	15

基本事業11403 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当:健康増進課)

主な取組内容

1. エイズを含む性感染症のまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、相談や検査を実施します。
2. 結核患者の早期発見・早期治療のため、定期及び定期外健診・結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

1 エイズ対策促進事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び抗体検査を実施しています。

(1) エイズ地域特別対策事業

① AIDS予防・HIV検査啓発

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成26年9月20日 10:30~12:00	桑名シティホテル 5階宴会場	保健所職員 2名	啓発ティッシュ・啓発物品等150個配布とAIDS予防・HIV検査啓発パネル展示、パンフレットの配布

② AIDS予防・HIV検査啓発

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成26年11月16日 9:30~14:30	菟野町保健福祉 センター けやきホール	保健所職員 1名	啓発ティッシュ・啓発物品等130個配布とAIDS予防・HIV検査啓発パネル展示

③ 「感染症予防」研修会における啓発

実施年月日	対象者	参加人数	実施内容
平成26年11月19日 12:45~13:05	北勢病院職員	63名	院内感染症予防対策研修会の一環で世界エイズデーと保健所におけるHIV検査に関する説明を実施、啓発ティッシュの配布

④ 「世界エイズデー」街頭キャンペーン

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成26年12月1日 7:40~8:20	桑名駅東口 ロータリー周辺	保健所職員 3名	啓発ティッシュ800個配布

⑤ エイズ講演会

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成26年7月24日 13:15~15:45 桑名市中央公民館 大研修室	学校関係者 保健医療関係者等	43名	講演 「性感染症と子供達」 講師 HIVと人権・情報センター 尾澤 るみ子氏 徳永 桂子氏

(2) エイズ相談・検査実施日時(平成26年度)

毎週火曜日 午後1時~午後2時30分

① HIV抗体検査、電話・面接相談者数

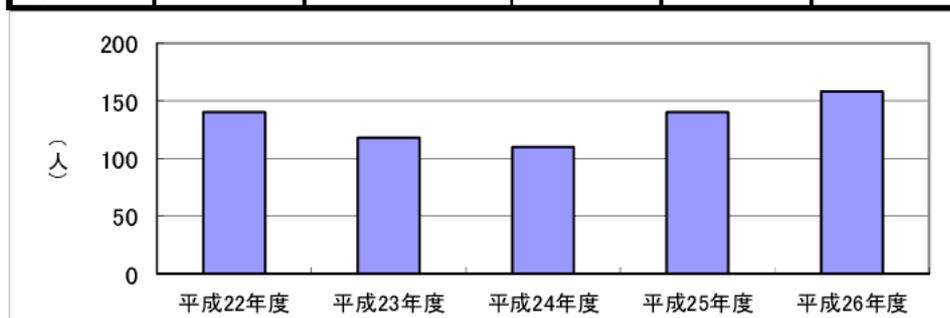
	男	女	計
電話・面接による相談件数	6	4	10
HIV抗体検査件数	112	46	158



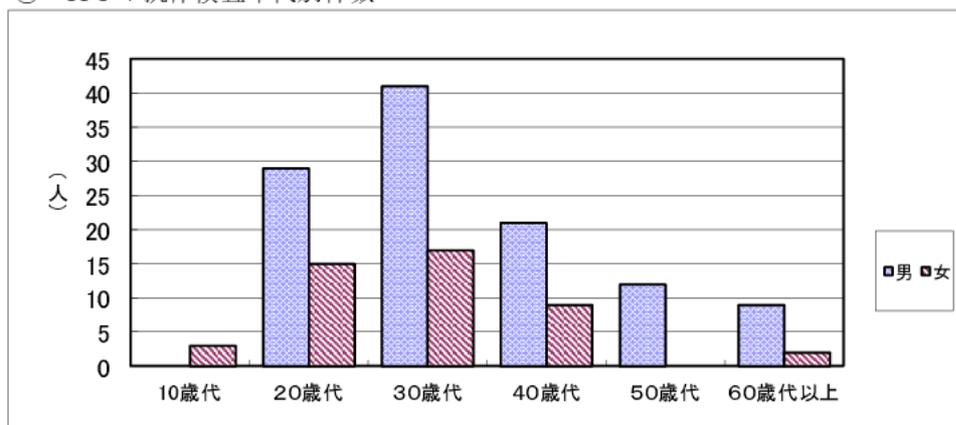
(レッドリボン)

② HIV抗体検査件数の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
検査件数	140	118	110	140	158



③ HIV抗体検査年代別件数



(3) 特定感染症検査件数（平成26年度）

性感染症に関する特定感染症予防指針に基づき、梅毒、B型・C型肝炎検査を希望の方に対し、相談や検査を実施した。

	男	女	計
梅毒	103	46	149
B型肝炎	125	65	190
C型肝炎	124	64	188

(4) 感染症に関する予防啓発

実施年月日・場所	対象者	参加人数	内 容
平成26年11月5日 17:30~19:00 石榑保育園	保育士	54名	「子供の感染症と予防」 桑名保健所 健康増進課
平成26年11月6日 17:30~19:00 山郷保育所	保育士	47名	「子供の感染症と予防」 桑名保健所 健康増進課
平成26年11月28日 14:00~15:30 北勢市民会館	いなべ市民生委員	75名	「感染症の発生状況と予防方法」 桑名保健所 健康増進課
平成26年11月19日 12:45~13:05 北勢病院	病院職員	63名	「冬に流行する感染症の対策について」 桑名保健所 健康増進課

(5) 肝炎ウイルス検査医療機関委託事業

	男	女	計
B型肝炎	20	19	39
C型肝炎	20	19	39

2 予防接種

予防接種法に基づき円滑に予防接種の実施ができるよう、市町、医師会等と連携を図るとともに、予防接種による健康被害に関する救済事務を行っています。

3 結核予防事業

平成19年4月からは感染症法2類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

(1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

ア 新登録患者数（活動性分類、性別、年齢階級別）

平成26年1月1日～平成26年12月31日

病型別 年齢区分	計			活動性結核												(別掲) 潜在性 結核感染症		
				肺結核活動性									肺外結核					
				喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性			菌陰性・その他			活動性					
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女				
計	43	25	18	14	6	8	14	10	4	3	2	1	12	7	5	15	7	8
0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	1
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29	3	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1	1	5	1	4
30～39	5	3	2	3	1	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	2	1	1
40～49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	2
50～59	2	1	1	1	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
60～69	4	3	1	-	-	-	1	1	-	1	1	-	2	1	1	-	-	-
70～	28	17	11	8	4	4	12	8	4	-	-	-	8	5	3	-	-	-

イ 年末現在登録者数（活動性分類、受療状況別）

平成26年12月31日現在

病型別 区分	計			活動性結核				不活動性 結核	活動性 不明	
				肺結核活動性						肺外結 核活動 性
				計	喀痰塗抹陽 性	その他 結核菌陽性	菌陰性、 その他			
計	87	29	14	13	2	7	49	2		
入院中	5	4	2	2	-	1	-	-		
外来治療中	31	25	12	11	2	6	-	-		
治療なし	51	-	-	-	-	-	49	2		
不明	-	-	-	-	-	-	-	-		

ウ 市町別結核登録患者の状況

平成26年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核				不活動性結核	活動性不明	人口10万対	
		肺結核活動性			肺外結核活動性			活動性結核の有病率	
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他				25年	26年
管内計	87	14	13	2	7	49	2	7.8	12.7
桑名市	56	5	10	2	4	34	1	7.8	14.9
いなべ市	11	4	2	-	-	5	-	11.0	13.3
木曽岬町	1	-	-	-	-	1	-	15.2	-
東員町	7	-	1	-	2	4	-	3.9	11.8
菰野町	8	3	-	-	1	3	1	5.0	9.9
朝日町	1	1	-	-	-	-	-	9.9	9.7
川越町	3	1	-	-	-	2	-	6.9	6.8

エ 市町別結核新登録患者の状況

平成26年1月1日～平成26年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核					罹患率	(別掲)潜在性結核感染症
		肺結核活動性				肺外結核活動性		
		計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他			
管内計	43	31	14	14	3	12	15.2	15
桑名市	25	18	6	10	2	7	17.7	6
いなべ市	8	7	3	3	1	1	17.7	4
木曽岬町	1	1	1	-	-	-	15.5	1
東員町	4	1	-	1	-	3	15.7	-
菰野町	3	2	2	-	-	1	7.4	3
朝日町	1	1	1	-	-	-	9.7	-
川越町	1	1	1	-	-	-	6.8	1

(2) 結核検診実施状況

平成26年度

対象別	項目	予防接種				胸部エックス線撮影		喀痰検査者数	IGRA検査	結核患者発見者数	(別掲)潜在性結核感染症発見者数
		対象者数	ツ反応検査者数	陽性者数	BCG接種者数	対象者数	受診者数				
定期	計	2,499	-	-	2,281	77,895	24,695	11	-	4	-
	事業者	-	-	-	-	9,216	9,097	2	-	-	-
	学校長	-	-	-	-	2,358	2,354	-	-	-	-
	施設の長	-	-	-	-	1,044	969	-	-	-	-
	市町長	2,499	-	-	2,281	65,277	12,275	9	-	4	-
定期外	計	/	8	-	-	/	263	1	79	2	5
	接触者	/	1	-	-	/	105	-	36	-	2
	患者家族	/	7(1)	-	-	/	106(16)	1(1)	43(19)	2	3(1)
	患者管理	/	-	-	-	/	52	-	-	-	-

()内の数字は医療機関委託分(再掲)

(3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成26年度

項目 市町別	住民健 診対象 者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C)/(B) %	胸部エックス線撮影				結核 患者 発見 数 (G)	(G)/(D) %
					受診人員			(D)/(A) %		
					間接撮影数	直接撮影数	計(D)			
計	65,277	2,499	2,281	91.3%	9,349	2,926	12,275	18.8%	4	0.03%
桑名市	35,584	1,216	1,168	96.1%	4,357	-	4,357	12.2%	2	0.05%
いなべ市	8,501	411	333	81.0%	2,910	754	3,664	43.1%	1	0.03%
木曾岬町	1,733	35	35	100.0%	120	106	226	13.0%	-	-
東員町	5,374	233	176	75.5%	-	2,066	2,066	38.4%	1	0.05%
菰野町	10,105	332	297	89.5%	1,613	-	1,613	16.0%	-	-
朝日町	1,964	99	99	100.0%	311	-	311	15.8%	-	-
川越町	2,016	173	173	100.0%	38	-	38	1.9%	-	-

(4) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第37条申請診査件数 平成26年中

区分	申請別			
	計	新規申請	継続申請	解除
申請件数	53(2)	20(2)	33	18
承認件数	53(2)	20(2)	33	18

※37条の2からの変更()を含む

イ 感染症法第37条の2申請診査件数(継続申請除く) 平成26年中

区分	計	被用者保険		国保	後高	生保
		本人	家族			
申請件数	49(11)	15(3)	5(1)	7	21(7)	1
承認件数	49(11)	15(3)	5(1)	7	21(7)	1

※37条のからの変更()を含む

(5) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成26年4月1日現在

氏名	役職名
北川 良子	桑名西医療センター 内科医長
笠井 寛司	笠井内科 院長
菅原 望	いなべ総合病院 内科医長
畑中 准子	桑名人権擁護委員協議会(人権擁護委員)
大橋 真由美	三重県社会保険労務士会(社会保険労務士)

(6) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第1、3週の木曜日(但し、5月、平成27年1月は、第2第4木曜日) 午後2時30分から午後3時 受付

(7) 結核対策特別促進事業

ア 目的

結核治療における服薬確認療法(DOTS)に取り組むにあたり、支援を行う機関・支援者を広げていくことを目指す。また、服薬確認療法が必要な患者に対し、療養や服薬への不安を減らし、服薬を完遂できるよう支援する。

イ 事業内容

1) 結核患者服薬支援 (DOTS)

①医療機関とのDOTSカンファレンス

【四日市羽津医療センター】

日 時：定例実施 毎月第1月曜日 午後3時～

場 所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター 結核担当看護師、外来看護師、薬剤師等
桑名・鈴鹿・四日市市 保健所結核担当保健師

対象者：四日市羽津医療センターに結核にて入院中及び退院後の患者

参加回数	11回
検討人数	28名 (延)
外来患者	23名 (延)

②関係機関とのDOTSカンファレンス

第1回

日 時：平成27年1月28日 14:00～15:30

場 所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター 看護師、医師
町担当者、訪問看護ステーション看護師

生活保護課担当ワーカー、桑名保健所結核担当課 課長、担当保健師

第2回

日 時：平成27年2月5日 11:00～13:00

場 所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター 看護師

患者、患者家族

町保健師

生活保護課担当ワーカー、桑名保健所結核担当保健師

第3回

日 時：平成27年2月12日 17:00～19:30

場 所：菰野町庁舎

参加者：訪問看護師

町保健師・担当者

生活保護課担当ワーカー、桑名保健所結核担当保健師

第4回

日 時：平成27年3月24日 17:00～19:30

場 所：菰野町庁舎

参加者：訪問看護師

町保健師

桑名保健所結核担当保健師

③コホート検討会

【四日市羽津医療センター】

日 時：平成27年2月17日 10時30～12時00分

場 所：四日市羽津医療センター

参加者：四日市羽津医療センター 6名 (医師、看護師、薬剤師、検査技師、MSW、栄養士)
桑名・鈴鹿・四日市市 保健所結核担当保健師 5名

対象者：四日市羽津医療センターに退院後の治療終了患者

③DOTS支援

	病院・家庭訪問	保健所内面接	電話	郵送
実人数	47	18	40	34
延人数	117	39	115	187

ウ 成果

今年度は、DOTS実施率・服薬完遂率向上を目標に、服薬支援に取り組んだ。初回面接を丁寧に行うことにより、その方にあったDOTS方法を検討しながら実施した。

特に服薬継続が難しいケースに関して町、訪問看護、生活保護といった多岐にわたる関係者と患者の服薬完遂に向けて情報共有をしながらそれぞれの立場での見守体制をとるように努めた。これらにより、結核や治療完遂の必要性等の、啓発や支援体制の構築につながった。

今後も事例を通して、また、さまざまな機会を活用し説明することで、結核対策やDOTSの理解を深め、支援者を広げていく必要がある。

また、DOTSカンファレンスの開催により、医療機関等と保健所の連携強化を図るとともに、早期面接および対象者に合った形でのDOTS方法を検討し、実施していくことに繋がった。

エ 今後の課題と平成27年度の計画

- 1) 医療機関と地域との連携のもと、DOTSを推進し服薬支援体制を整備する。
- 2) 高齢者の罹患率が高いことから、在宅の方は同居の家族やケアマネージャーに、また老人施設入所者においては施設担当者にDOTS支援をしていただく等しており、平成27年度も引き続き患者一人ひとりに応じたDOTS支援を実施する。また、高齢者施設等のサービス提供者に、希望があれば結核DOTSの必要性について啓発し支援者を増やしていく。
- 3) 患者を中心とした関係機関と連携を図りながらDOTSを進めていく。

施策121 医師確保と医療体制の整備
基本事業12101 医療分野の人材確保
 (主担当:総務企画課、健康増進課)

主な取組内容

1. 保健師は、管内市町、産業保健保健師等関係者と連携をとりながら、地域住民の心身の健康保持、増進、健康の回復、疾病予防を目的とし、家庭訪問、健康相談、集団検診、健康教育等を実施しています。
2. 看護業務・医療業務・栄養業務等に従事しようとする学生に対して保健所実習指導を実施します。
3. 平成16年度から実施された新医師臨床研修制度に基づき、研修2年目の医師に対して地域保健分野として保健所研修を実施します。

1 保健師活動状況

(1) 保健師配置状況

平成27年4月1日現在

	管内合計	保健所	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
H23	73	9	22	14	4	6	9	4	5
H24	73	9	23	13	4	6	9	4	5
H25	73	8	24	13	4	6	9	4	5
H26	74	8	24	12	4	7	9	5	5
H27	74	8	23	13	4	7	9	5	5

※保健所H26、27については、実働数

2 看護学生等保健所実習指導

平成26年度

	所属名	実習期間(日)	人員(名)
看護学生	三重県立看護大学看護学部看護学科	8	4
		1	24
	三重大学医学部看護学科	10	6
		1	11
	四日市看護医療大学	6	7
管理栄養士	名古屋学芸大学	5	3
	東海学園大学	5	1
	名古屋女子大学	5	2
	鈴鹿医療科学大学	5	7

3 医師臨床研修受入状況

平成16年度から診療に従事しようとする医師は、医師免許取得後、2年間の臨床研修受講を義務づけられています。(医師法第16条の2)

この制度においては、「特定の医療現場の経験」として「地域保健」が選択科目に指定されており、保健所等がその対象機関とされています。

平成26年度

所属病院名	研修医数	受入標準期間	延べ受入日数	備考
桑名東医療センター	6	2週間	60日間	
桑名西医療センター	1	2週間	10日間	
いなべ総合病院	3	2週間	30日間	

基本事業12102 救急・へき地等の医療の確保

(主担当:総務企画課、健康増進課)

主な取組内容

1. 地域住民の救急医療を確保するため、管内の一次救急、二次救急および救命救急医療体制の整備を行います。
2. 救急告示医療機関との連携を図ります。

1 地域救急医療対策事業

(1) 桑員地域救急医療対策協議会（桑員地域メディカルコントロール協議会）

	開催日	開催場所	出席委員数	主な協議内容
第1回	平成27年3月26日	衛生教育室	13名	<ol style="list-style-type: none"> 1 桑員地域メディカルコントロール作業検討会報告及び承認等 2 桑員地域感染症危機管理ネットワーク会議について 3 桑員地域災害医療対策部会について 4 応急診療所利用状況（桑名市）について 5 救急概要（桑名市消防本部）について 6 交通事故発生状況（桑名警察署・いなべ警察署）について

(2) 桑員地域感染症危機管理ネットワーク会議

	開催日	開催場所	出席委員数	主な内容
第1回	平成26年7月1日	衛生教育室	14名	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型インフルエンザ等対策について <ol style="list-style-type: none"> (1) この1年の状況 (2) 桑名市新型インフルエンザ等対策行動計画 2 情報提供 <ol style="list-style-type: none"> (1) 管内における平成25年の感染症届出状況について (2) 風しんの流行と対策について
第2回	平成26年11月20日	衛生教育室	13名	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型インフルエンザ等対策行動計画について 2 エボラ出血熱の対応について

(3) 桑員地域災害医療対策部会

	開催日	開催場所	出席委員数	主な内容
第1回	平成26年10月30日	衛生教育室	13名	<ol style="list-style-type: none"> 1 桑員地域災害医療対策部会について 2 地域災害医療コーディネーターについて 3 災害医療に関する訓練について
第2回	平成27年1月29日	衛生教育室	12名	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害医療に関する訓練について 2 地域災害医療コーディネーター及び平成27年度桑員地域災害医療対策部会について 3 災害医療コーディネーター研修について 4 平成26年度 桑員地域救急医療対策協議会への報告について

2 救急告示医療機関

救急告示医療機関は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を勘案して認定しています。

(1) 管内救急告示病院・診療所

(平成27年3月31日現在)

名称	住所	電話番号
桑名東医療センター	桑名市寿町三丁目 1 1 番地	0594-22-1211
医療法人誠会 山崎病院	桑名市大字江場 1 3 6 5 番地	0594-22-0983
桑名西医療センター	桑名市大字北別所 4 1 6 番地 1	0594-22-7111
医療法人 桑名病院	桑名市京橋町 3 0 番地	0594-22-0460
青木記念病院	桑名市中央町五丁目 7 番地	0594-22-1711
ヨナハ総合病院	桑名市和泉八丁目 2 6 4 番地 3	0594-23-2415
桑名南医療センター	桑名市中央町一丁目 3 2 番地 1	0594-22-0650
森栄病院	桑名市内堀 2 8 番地の 1	0594-23-0452
三重県厚生農業協同組合 連合会 いなべ総合病院	いなべ市北勢町阿下喜 7 7 1 番地	0594-72-2000
日下病院	いなべ市北勢町阿下喜 6 8 0 番地	0594-72-2511
四日市消化器病センター	三重郡菰野町大字宿野神明田 4 3 2 番地	059-393-2300
三重県厚生農業協同組合 連合会 菰野厚生病院	三重郡菰野町福村 7 5 番地	059-393-1212
大桑クリニック	桑名市多度町柚井字境川 1 3 2 番地	0594-48-5311
青木内科	桑名市新西方二丁目 8 2 番地	0594-22-1111

基本事業12103 医療の質の向上

(主担当:総務企画課)

主な取組内容

1. 医療の安全確保や医療に関する情報提供・相談体制の充実を図ります。

1 医務

管内における医療施設及び医療関係者の状況は次のとおりです。
医療法等関係法令に基づき、管内医療機関等の開設、変更・廃止等の事務手続きを行い、必要に応じて立入検査を実施し、構造設備等法令基準の適合について指導しました。

(1) 市町別医療関係施設数

平成27年3月31日現在

区分 市町名	病院		一般診療所		歯科 診療所	助産所	施術所	歯科技 工所
	一般	精神	有床	無床				
管内 計	16	4	12	160	121	7	245	43
桑名市	10	1	9	82	67	4	131	26
いなべ市	3	1	-	25	17	1	38	9
木曾岬町	-	-	1	2	2	-	4	-
東員町	-	2	-	15	10	-	20	4
菰野町	3	-	-	22	14	1	36	4
朝日町	-	-	-	7	4	-	10	-
川越町	-	-	2	7	7	1	6	-

※助産所、施術所の施設数は、出張業務のみを行なうものを含みます。

(2) 病床数 (病院、診療所)

平成27年3月31日現在

区分	病 院						一般診療 所病床 (療養病床再掲)	率(人口10万対)	
	総数	精神 病床	感染症 病床	結核 病床	一般病床	療養病床		病院	一般診 療所
管内	2,951	885	0	0	1,369	697	(39) 184	1,027.3	64.1
桑名市	1,564	222	-	-	852	490	(27) 141	1,097.2	98.9
いなべ市	603	174	-	-	326	103	-	1,308.8	-
木曾岬町	0	-	-	-	-	-	1	0.0	15.4
東員町	489	489	-	-	-	-	-	1,912.0	-
菰野町	295	-	-	-	191	104	-	712.2	-
朝日町	0	-	-	-	-	-	-	0.0	-
川越町	0	-	-	-	-	-	(12) 27	0.0	182.5
三重県	20,406	4,781	24	30	11,367	4,204	1,309	1,126.6	72.3

※病床数は許可病床数です。

(3) 医療関係者数

平成24年12月31日現在

	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
管内	394	151	448	93	39	1,851	835	213	64
桑名市	226	94	268	44	24	948	438	117	39
いなべ市	75	19	95	13	10	416	141	21	11
木曾岬町	3	2	3	5	0	25	6	5	0
東員町	22	10	30	6	0	138	99	30	4
菰野町	50	14	43	13	4	271	111	26	8
朝日町	8	4	3	6	0	29	12	6	0
川越町	10	8	6	6	1	24	28	8	2

○ 2年ごとに調査されます医師、歯科医師、薬剤師については登録者の届出数（住所地別）、保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科技工士、歯科衛生士については就業地届出数です。

(4) 医療機関立入検査状況

医療法等の関係法令に基づき、桑名保健所管内の病院及び診療所(助産所含む)に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行い、適正且つ良質な医療を確保するための指導助言を行いました。

()数は助産所再掲

平成26年度

		全施設数	立入検査実施数	実施率
病院		20	20	100.0%
診療所	医科	(7) 180	(0) 44	21.0%
	歯科	120	19	

※ 診療所の立入検査については、5年で一巡するよう20%以上の実施率を目標にしています。全施設数は、平成26年4月1日現在(休止除く)です。

施策123 心と体の健康対策の推進
基本事業12301 健康づくり活動の推進

(主担当: 健康増進課)

主な取組内容

1. 生活習慣病予防に向け、健康的な食生活が実践できるよう、「食事バランスガイド」等による啓発、栄養に関する指導者等の人材育成などの食育推進に取り組みます。
2. 給食施設を運営する事業者や「健康づくり応援の店」等と協働して、健康に配慮した食の提供を行うなど、食環境の整備を進めます。
3. 市町栄養士の育成を図るとともに、食に関するボランティアの育成とネットワークづくりを行い、地域に根ざした栄養改善活動を行います。
4. 市町村、企業、学校、NPOならびに医師会等関係団体に対し、健康づくり活動の協働体制を確立するための働きかけを積極的に行います。
5. 社会情勢に応じた地域保健活動を推進するため、地域や関係団体等の健康づくり担当者に対する研修を実施し、支援します。

1 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成にむけて、食事バランスに対する理解や「食事バランスガイド」を活用した取組等をはかり、多様な主体と協働した食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進します。

(1) 給食施設数及び指導状況

健康増進法第22条に基づき、特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設の栄養改善指導を実施した。

ア 巡回指導

	特定給食施設	一般給食施設	計
施設数	119	70	189
指導施設数	23	15	38

イ 従事者研修会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成27年 2月25日	桑名庁舎	44名	講演 「幸せを呼ぶ食事学」 講師 名城大学大学院 総合学科研究科 教授 加藤幸久 氏 事例発表 ①ブログを通してみた、食物アレルギーの対応 くわな幼稚園 管理栄養士 小山和沙 氏 ②あなたの施設ではどのような食形態が必要ですか？ ～菰野厚生病院での取り組み～ 菰野厚生病院 管理栄養士 中原さおり 氏 ③栽培体験活動から食育を考える 東員町立城山幼稚園しるやま保育園 園長 廣田美保 氏 情報提供 非常時の対応状況 (平成26年度給食施設運営状況報告書より) 桑名保健所

(2) 地区組織活動支援状況

地域における食生活改善のボランティアとして活躍している食生活改善推進員の地区組織活動の円滑な運営が行われることを目的に支援を行った。

ア 食生活改善推進員研修会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成26年 4月10日	朝日町 保健福祉センター	朝日町食改会員65名	講義・演習 「栄養成分表示をチェック！」
平成26年 5月1日	桑名庁舎	桑名地区 食改リーダー研修会 参加者15名	情報提供 「乳和食のすすめ」 調理実習 「乳和食で食塩エコ」
平成27年 3月6日	四日市庁舎	四日市 食改会員40名	情報提供 「乳和食のすすめ」 調理実習 「乳和食で食塩エコ(春バージョン)」

イ 活動支援 13回

(3) 地域活動栄養士活動支援状況

市町の栄養改善・健康づくりを市町栄養士とともに担っている地域活動栄養士に対し、資質向上のための支援を行った。

ア 研修会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成26年 5月7日	桑名庁舎	三重県地域活動 栄養士連絡協議会 桑名支部会員 7名	情報提供 「食品添加物の誤解を解く」 意見交換

イ 活動支援 16回

(4) 市町栄養改善支援状況

市町栄養士の資質向上と栄養改善施策の充実を図るために業務検討や情報交換等を行うとともに必要な技術支援を行った。

ア 業務検討会

月 日：平成26年5月12日、7月7日、平成27年2月9日、3月2日

場 所：桑名庁舎

対 象：管内市町栄養業務担当者 延べ30名

内 容：災害時の対応について

～災害発生時の各市町での栄養・食生活支援のあり方を検討する～

(5) 栄養士職域ネットワーク研究会

住民の各ライフステージにおいて、食生活指導や栄養管理を担う管理栄養士及び栄養士の連携と資質の向上を推進し、給食施設の円滑な運営や地域の食生活上の問題を連携して取り組む地域栄養改善を展開することにより、住民の健康増進と生活習慣病予防を図ることを目的に、研究会を実施した。

ア 栄養士職域ネットワーク委員会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成26年 7月24日	桑名庁舎	委員5名	今年度1回目研修会の結果報告 今年度後期活動計画 (研究会の検討、情報交換 他)
平成27年 3月19日	桑名庁舎	委員6名	今年度活動報告 次年度計画 他

イ ネットワーク研究会

開催日	開催場所	参加人員	内容
平成26年 6月18日	桑名庁舎	38名	講演 「熱中症対策について」 講師 大塚製薬株式会社 名古屋支店 津出張所 酒井照夫 氏 講演 「エクオールについて」 大塚製薬株式会社 名古屋支店 エクエル担当 金井一記 氏 お知らせ 「栄養サマリーについて」 桑名保健所 情報交換 テーマ「水分補給の工夫」 (4職域)
平成27年 1月27日	桑名庁舎	34名	講演 「地域包括ケアシステム」の構築に向けた 栄養士に対する期待 講師 桑名市副市長 田中謙一 氏 講演 「ラクトフェリンの感染症予防効果」 講師 株式会社クリニコ東海支店 佐藤千恵 氏 情報交換 テーマ:「衛生管理」 (4職域)

(6) 野菜フル350推進事業

県民の食生活をみると全ての年代で野菜の摂取が不足している。この不足は栄養バランスの偏りや生活習慣病の視点から課題である。そこで、県民が健康的な食生活が実践できるように野菜摂取を推進した。

ア 健康教育、啓発等

日時	事業名(協働先)	内容	対象者
5月2日	桑員地区食生活改善推進連絡協議会リーダー研修会	講義 (生活習慣病を予防するための食事、野菜摂取推進)	15名
10月11日	商品・くらしの活動交流会 (コープみえ)	野菜摂取啓発	約150名
11月16日	菰野町健康フェスティバル	たばこクイズ実施者に野菜摂取の啓発	約100名
11月7日 11月12日 11月28日	調理師手帳書換え講習会 (三重県調理師会桑員支部)	講義 (野菜摂取推進、栄養表示の見方、健康づくり応援の店)	52名 36名 27名
2月7日	四日市地区食生活改善推進連絡協議会リーダー研修会	講義 (高血圧予防のための食事の工夫、野菜摂取推進)	40名

野菜を食べよう！1日350g



野菜フル350 MIE

2 桑名保健所管内地域・職域連携推進事業

生活習慣病の急増する中、地域保健と職域保健が連携し、健康教育、健康相談、健康診査等による一生涯を通じた効果的・効率的な保健事業の展開が求められている。

そこで、桑名地域では、平成17年度から、住民、企業、関係団体、行政等から構成する「『ヘルシーピープルそういん・21』地域・職域連携推進協議会」を設置し、健康なまちづくり及び地域活性化を目標に、地域保健と産業保健の連携による健康づくりのネットワーク構築に取り組んできた。

(1) 地域・職域連携推進協議会

こころと身体健康づくりをキーワードに、地域及び職域における健康づくりの取組など互いの健康情報の共有を図るとともに、具体的な連携事業の企画や実施に向けての協議を行った。情報交換や共有化をしていく中でメンバー間の共通認識と情報内容の充実を図るとともにネットワークを構築することができた。

開催日	平成26年12月11日（木）
場所	桑名庁舎衛生教育室
委員	地域保健・職域保健・その他関係者 14名
内容	要綱の改正 各所属及び桑名保健所の取組 情報提供 追加所属機関の取組 意見交換

(2) 人材育成研修会の開催

地域や職域において健康づくりに携わる関係者の知識や技術の向上を目的として研修会を開催した。それぞれの職場でのメンタルヘルス対策の実践状況や課題などについて互いに情報交換を行うよい機会となった。

健康管理従事者研修会の開催

開催日時	開催場所	対象	内容
平成26年 12月11日 14:45～16:30	桑名庁舎 第一会議室	協議会委員および企業、関係団体、行政の健康管理(健康づくり)担当者 31名	講演 「新型うつとは？対応の方法は？」 講師 特定医療法人北勢病院 臨床心理士 久保早百合 氏

(3) 働き盛り世代を対象としたポピュレーションアプローチ

地域で開催される住民を対象としたイベントに参画し、来場者に向けた健康づくり啓発を行った。また、管内企業との連携した取り組みを進めていくため、一部の企業に対し情報収集を行った。

ア イベントへの参加

日時	場所	対象	内容
平成26年 9月26日 10:30～12:30	桑名シティ ホテル	コープみえ 組合員および 一般 約250人	メタボ体験&クイズ 健康づくり啓発パンフおよびグッズの配布 (野菜の摂取・運動・こころの健康づくり・HIV)

3 たばこ対策

たばこ対策について普及啓発を行うとともに、関係者が積極的に取り組んでいけるよう支援を行います。

また、地域の実情に応じた受動喫煙防止対策、禁煙支援を実施し、たばこ対策を推進します。

(1) 啓発活動

ア 「世界禁煙デー」「禁煙週間」の啓発

1) 世界禁煙デー街頭キャンペーンの実施

日時 平成26年6月4日 午前7時50分～8時15分

場所 JR東海桑名駅前ロータリー

内容 「禁煙週間」「歯と口の健康週間」を記載した歯ブラシ500本配布

2) 庁舎内の展示コーナーに喫煙対策に関するポスター掲示及びパンフレットなど啓発物の配布、世界禁煙デーのぼり設置

実施日 平成26年5月30日～6月6日（禁煙週間）

(2) 受動喫煙防止対策

ア 「たばこの煙のないお店」認証制度

平成18年6月から県が食品衛生協会に委託を行い、県内全域で実施している「たばこの煙のないお店」認証制度により、飲食店での受動喫煙防止を啓発した。

管内認証店 63店舗(平成27年3月現在)

(3) 禁煙支援

ア ホームページで禁煙治療に保険が使える医療機関情報の公表

<http://www.pref.mie.jp/WHOKEN/HP/tabaco/tabakotaisaku.htm>

イ 健康相談・啓発の実施

日時 平成26年11月16日（日）

場所 菰野町保健福祉センター

対象 菰野町健康フェスティバル来場者 約100名

内容 禁煙・受動喫煙防止啓発、禁煙相談、たばこクイズ

基本事業12302 こころの健康づくりの推進

(主担当:健康増進課)

主な取組内容

1. 県民がこころの健康づくりの重要性を認識し、自ら実践することができるようにするため、こころの健康に関する啓発をおこないます。
2. 身近なところでこころの健康づくりを支援できるよう、職域、学校、地域機関等と協働して、支援体制を整備します。

1 こころの健康づくり（自殺予防対策）研修会

目的： 県民の理解と関心を高め、ひいては自殺防止につながることを目指す。

対象： 住民、関係団体職員他

日時	内容	場所	受講者
平成27年 2月7日（土）	講演 『うつ円満セミナー』 講師 自己感謝スキルトレーナー（うつ専門カウンセラー） 澤登和夫 氏	桑名市メディアライヴ 多目的ホール	112名

2 啓発活動事業

（1）「自殺予防週間」啓発事業

日時	内容	場所
平成26年 9月10日（水）	街頭啓発 ①自殺予防週間の呼びかけ ②啓発グッズの配付、のぼり掲示	JR東海桑名駅前 ロータリー近隣
平成26年 9月10日（水）～ 9月16日（火）	啓発コーナーの設置 ①自殺予防週間ののぼり、ポスターの開示 ②啓発用ティッシュの設置	保健所ロビー
平成26年 9月10日（水）～ 9月16日（火）	ホームページに「自殺予防週間」の情報掲載	保健所 ホームページ

（2）「自殺対策強化月間」啓発事業

日時	内容	場所
平成27年 2月27日（金）	街頭啓発 ①自殺対策強化月間の呼びかけ ②啓発グッズの配付、のぼり掲示	JR東海桑名駅前ロー タリー近隣
平成27年 2月27日（金）～ 3月31日（火）	啓発コーナーの設置 ①自殺対策強化月間ののぼり、ポスターの開示 ②啓発用ティッシュの設置	保健所ロビー
平成27年 2月27日（金）～ 3月31日（火）	ホームページに「自殺対策強化月間」の情報掲載	保健所 ホームページ

3 人材育成事業

（1）メンタルパートナー養成事業

目的： 身近な人の自殺・うつの兆候に気づき、相談につなげる人材育成を推進する。

対象： 一般住民、民生委員、人権擁護委員等

結果： 桑名保健所実施分 1回実施 4名養成

管内（市町・企業など）で 884名養成 合計 888名養成

基本事業12303 生活習慣病・難病対策の推進

(主担当:地域保健課、衛生指導課、健康増進課)

主な取組内容

- 1 難病患者及び原爆被爆者への医療費助成や福祉サービスの支援を行います。
- 2 難病相談支援センター事業を難病患者団体との協働で進め、生活相談・療養相談等を行うことにより、難病患者とその家族のQOL(生活の質)の向上を図ります。
- 3 重症難病患者とその家族が、安心して在宅療養生活を送ることができるよう支援します。
- 4 壮年期からの健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見のため、市町が実施する健康増進事業の運営支援を行います。
- 5 骨髄移植や骨髄バンク制度について普及啓発するとともに、骨髄提供希望者の登録活動を推進します。
- 6 県民の臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行うとともに、三重県角膜・腎臓バンク協会の活動を支援します。

1 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、原子爆弾が投下された際、広島市、長崎市とこれに隣接する区域内にあった者、その他身体に放射能の影響を受けるような事情下にあった者、当時その者の胎児であった者について年2回の定期健康診断を実施し、被爆者の健康管理に努めた。

(1) 原爆被爆者健康診断実施状況

	第1回 (H26.5.1～H26.5.31)	第2回 (H26.11.1～H26.11.30)
対象者	181	177
受診者数	87	74

(2) がん検診受診者数

(平成26年度)

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性骨髄腫	大腸がん
受診者数	6	28	8	6	30	21

(3) 各種手当受給状況

平成27年3月31日現在

	医療特別手当	特別手当	小頭症手当	健康管理手当	保健手当	家族介護手当	葬祭料
支給対象者数	9	1	0	130	8	1	7

※葬祭料については、平成26年度中件数

2 難病在宅ケア事業

事業の目的

難病患者の在宅ケアには、包括的な支援体制が必要である。そのため患者・家族の療養上の不安の軽減を図るとともに、療養者が地域で安心して暮らせるよう、関係機関との連携のもとに在宅ケア支援体制を整備する。

(1) 訪問相談事業

筋萎縮性側索硬化症等の神経難病重症患者を中心に訪問等による支援を実施した。

ア 訪問回数：実人員11人、延べ23回

イ 面接・電話相談回数：延べ157回

ウ 三重県難病医療連絡協議会難病医療専門員及び協力病院担当者への連絡回数：延べ15回

エ 難病患者在宅療養支援会議：出席回数3回

(2) 難病在宅ケア支援ネットワーク整備事業

・ 人工呼吸器装着特定疾病患者一時入院事業利用支援：実人員2人、相談回数13回

3 特定疾患治療研究事業

難治度、重症度が高く、患者数が比較的小さいため、公費負担の方法をとらないと原因の究明、治療法の開発などに困難をきたすおそれのある疾患について、医療費の自己負担の軽減対策をしています。

特定疾患医療受給者数

平成26年12月31日現在

疾患別	市町	総数	内							
			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菟野町	朝日町	川越町	四日市市
		(238)	(96)	(24)	(2)	(16)	(21)	(10)	(11)	(58)
		4,547	1,055	300	42	200	302	60	86	2,502
1	ベーチェット病	(6)	(1)	(1)		(1)			(1)	(3)
		83	13	11	0	2	7	0	2	48
2	多発性硬化症	(4)	(3)	(1)						
		99	21	4	0	8	5	1	3	57
3	重症筋無力症	(6)	(1)			(1)	(2)			(2)
		87	19	3	3	6	9	0	1	46
4	全身性エリテマトーデス	(8)	(3)	(1)			(1)	(1)	(2)	
		256	63	18	1	11	17	4	4	138
5	スモン	(0)								
		6	1	0	0	0	0	0	0	5
6	再生不良性貧血	(4)	(1)	(1)						(2)
		48	15	6	0	1	3	0	0	23
7	サルコイドーシス	(7)	(2)			(2)	(2)			(1)
		125	24	8	0	6	6	3	3	75
8	筋萎縮性側索硬化症	(5)	(2)	(1)			(1)			(1)
		48	11	4	0	4	6	1	0	22
9	強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎	(9)	(6)				(1)			(2)
		337	69	16	3	13	32	4	9	191
10	特発性血小板減少性紫斑病	(8)	(2)	(3)					(1)	(2)
		162	31	16	1	5	6	2	1	100
11	結節性動脈周囲炎	(2)	(1)				(1)			
		57	17	2	0	2	6	0	1	29
12	潰瘍性大腸炎	(47)	(26)	(2)		(2)		(5)	(2)	(10)
		929	251	56	12	52	63	18	17	460
13	大動脈炎症候群	(0)								
		24	8	1	0	1	4	0	0	10
14	ビュルガー病	(0)								
		16	3	1	1	0	2	0	0	9
15	天疱瘡	(3)	(1)						(1)	(1)
		29	12	2	0	1	1	0	2	11
16	脊髄小脳変性症	(5)	(1)			(1)	(1)			(2)
		128	24	5	0	6	6	0	4	83
17	クローン病	(10)	(4)	(3)						(3)
		209	46	13	0	7	17	5	4	117
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	(0)								
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	悪性関節リウマチ	(2)	(1)			(1)				
		25	7	3	0	2	0	0	1	12
20	パーキンソン病関連疾患	(42)	(22)	(2)	(1)	(2)	(4)	(2)		(9)
		668	153	34	6	17	39	6	15	398
21	アミロイドーシス	(1)		(1)						
		8	1	1	0	1	0	0	0	5
22	後縦靭帯骨化症	(10)	(3)	(2)			(1)	(1)		(3)
		224	49	25	2	9	15	1	3	120
23	ハンチントン病	(0)								
		8	5	0	0	0	0	0	0	3
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	(7)	(2)	(1)		(1)			(1)	(2)
		97	28	4	2	6	4	0	2	51
25	ウェゲナー肉芽腫症	(1)	(1)							
		5	2	0	0	1	0	0	0	2
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症	(2)	(1)							(1)
		144	16	14	1	8	8	2	1	94
27	多系統萎縮症	(2)		(1)						(1)
		60	10	5	1	2	1	3	1	37
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	(0)								
		2	0	0	0	0	0	0	0	2

特定疾患医療受給者数

平成26年12月31日現在

疾患別	市町	総数	内 訳							
			桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市
29 膿疱性乾癬		(0) 10	0	1	0	1	1	0	0	7
30 広範脊柱管狭窄症		(0) 11	2	3	0	1	1	1	0	3
31 原発性胆汁性肝硬変		(4) 130	(2) 28	(1) 6	1	3	7	2	(1) 4	79
32 重症急性膵炎		(0) 10	2	0	0	0	0	0	0	8
33 特発性大腿骨骨頭壊死症		(9) 69	(2) 15	3	1	3	(2) 2	1	(2) 2	(3) 42
34 混合性結合組織病		(0) 52	9	3	1	4	6	0	2	27
35 原発性免疫不全症候群		(1) 2	0	0	0	0	0	0	0	(1) 2
36 特発性間質性肺炎		(7) 30	(2) 9	1	0	(1) 1	(2) 2	1	0	(2) 16
37 網膜色素変性症		(9) 98	(1) 25	(1) 13	3	(2) 6	(2) 7	1	1	(3) 42
38 プリオン病		(0) 2	0	0	0	0	0	0	0	2
39 肺動脈性肺高血圧症		(2) 17	(1) 2	1	1	0	(1) 2	0	0	11
40 神経線維腫症		(0) 10	0	0	0	0	2	0	0	8
41 亜急性硬化性全脳炎		(0) 1	0	0	0	0	0	0	1	0
42 バット・キアリ症候群		(0) 2	1	0	0	0	0	0	0	1
43 慢性肺血栓塞栓症（肺高血圧型）		(1) 12	(1) 6	0	0	1	1	0	0	4
44 ライソゾーム病（ファブリー病含む）		(0) 7	0	1	0	0	0	0	0	6
45 副腎白質ジストロフィー		(0) 1	0	0	0	0	0	0	0	1
46 家族性高コレステロール血症		(0) 0	0	0	0	0	0	0	0	0
47 脊椎性筋萎縮症		(1) 2	1	0	0	(1) 1	0	0	0	0
48 球脊髄性筋萎縮症		(1) 5	(1) 2	0	0	1	0	0	0	2
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎		(1) 36	10	3	0	0	3	1	0	(1) 19
50 肥大性心筋症		(2) 8	1	0	(1) 1	(1) 2	0	0	0	4
51 拘束型心筋症		(0) 0	0	0	0	0	0	0	0	0
52 ミトコンドリア症		(0) 8	2	2	0	0	1	0	0	3
53 リンパ脈管筋腫症		(0) 3	0	0	0	1	0	0	0	2
54 重症多形滲出症紅斑		(0) 0	0	0	0	0	0	0	0	0
55 黄色靱帯骨化症		(1) 16	1	2	0	1	0	0	0	(1) 12
56 間脳下垂体機能障害		(8) 121	(3) 40	(2) 9	1	3	10	(1) 3	2	(2) 53

〔（ ）内の数字は年度内新規申請者数〕

4 特定医療費（指定難病）助成事業

難治度、重症度が高く、患者数が比較的少ないため、公費負担の方法をとらないと原因の究明、治療法の開発などに困難をきたすおそれのある疾患について、医療費の自己負担の軽減対策をしています。（平成27年1月1日から、難病法に基づく新しい制度に変わりました）

特定医療費（指定難病）受給者数

平成27年3月31日現在

疾患別	市町	総数	内 訳	
			四日市市	四日市市以外
		(82)	(42)	(40)
		4,283	2,294	1,989
1 球脊髄性筋萎縮症		(0) 5	2	3
2 筋萎縮性側索硬化症		(0) 44	21	23
3 脊髄性筋萎縮症		(0) 2	0	2
4 原発性側索硬化症		(0) 0	0	0
5 進行性核上性麻痺		(3) 48	(2) 24	(1) 24
6 パーキンソン病		(12) 545	(5) 312	(7) 233
7 大脳皮質基底核変性症		(1) 19	(1) 13	6
8 ハンチントン病		(0) 8	3	5
9 神経有棘赤血球症		(0) 0	0	0
10 シャルコー・マリー・トゥース病		(1) 1	0	(1) 1
11 重症筋無力症		(2) 88	(2) 45	43
12 先天性筋無力症候群		(0) 0	0	0
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎		(1) 97	(1) 55	42
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー		(0) 33	16	17
15 封入体筋炎		(1) 1	0	(1) 1
16 クロウ・深瀬症候群		(0) 0	0	0
17 多系統萎縮症		(2) 55	(1) 35	(1) 20
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)		(0) 117	71	46
19 ライソゾーム病		(0) 7	6	1
20 副腎白質ジストロフィー		(0) 1	1	0
21 ミトコンドリア病		(0) 8	3	5
22 もやもや病		(2) 92	(2) 50	42
23 プリオン病		(0) 2	2	0
24 亜急性硬化性全脳炎		(0) 1	0	1
25 進行性多巣性白質脳症		(0) 0	0	0
26 HTLV-1関連脊髄症		(0) 0	0	0

特定医療費（指定難病）受給者数

平成27年3月31日現在

疾患別	市町	総数	内 訳	
			四日市市	四日市市以外
27	特発性基底核石灰化症	(0) 0	0	0
28	全身性アミロイドーシス	(1) 8	(1) 5	3
29	ウルリッヒ病	(0) 0	0	0
30	遠位型ミオパチー	(0) 0	0	0
31	ベスレムミオパチー	(0) 0	0	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	(0) 0	0	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	(0) 0	0	0
34	神経線維腫症	(0) 9	8	1
35	天疱瘡	(0) 27	9	18
36	表皮水疱症	(0) 2	2	0
37	膿疱性乾癬（汎発型）	(0) 9	6	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	(0) 0	0	0
39	中毒性表皮壊死症	(0) 0	0	0
40	高安動脈炎	(0) 23	10	13
41	結節性多発動脈炎	(0) 0	0	0
42	結節性多発動脈炎	(0) 18	10	8
43	顕微鏡的多発血管炎	(1) 36	(1) 18	18
44	多発血管炎性肉芽腫症	(0) 6	2	4
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	(1) 1	(1) 1	0
46	悪性関節リウマチ	(0) 23	10	13
47	バージャー病	(0) 12	7	5
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	(1) 1	(1) 1	0
49	全身性エリテマトーデス	(2) 249	131	(2) 118
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	(0) 89	39	50
51	全身性強皮症	(3) 240	(1) 144	(2) 96
52	混合性結合組織病	(1) 52	(1) 28	24
53	シェーグレン症候群	(1) 2	0	(1) 2
54	成人スチル病	(0) 0	0	0
55	再発性多発軟骨炎	(0) 0	0	0

特定医療費（指定難病）受給者数

平成27年3月31日現在

疾患別	市町	総数	内 訳	
			四日市市	四日市市以外
56	ベーチェット病	(0) 77	44	33
57	特発性拡張型心筋症	(1) 139	(1) 91	48
58	肥大型心筋症	(0) 9	4	5
59	拘束型心筋症	(0) 0	0	0
60	再生不良性貧血	(1) 45	21	(1) 24
61	自己免疫性溶血性貧血	(0) 1	0	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	(1) 1	0	(1) 1
63	特発性血小板減少性紫斑病	(6) 150	84	(6) 66
64	血栓性血小板減少性紫斑病	(0) 1	0	1
65	原発性免疫不全症候群	(0) 5	4	1
66	IgA 腎症	(8) 8	(5) 5	(3) 3
67	多発性嚢胞腎	(6) 6	(3) 3	(3) 3
68	黄色靱帯骨化症	(1) 11	(1) 9	2
69	後縦靱帯骨化症	(7) 199	(4) 108	(3) 91
70	広範脊柱管狭窄症	(0) 8	2	6
71	特発性大腿骨頭壊死症	(2) 49	(2) 29	20
72	下垂体性ADH分泌異常症	(0) 6	4	2
73	下垂体性TSH分泌亢進症	(0) 0	0	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	(1) 8	3	(1) 5
75	クッシング病	(0) 1	0	1
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	(0) 2	1	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	(0) 22	10	12
78	下垂体前葉機能低下症	(2) 78	(2) 30	48
79	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	(0) 0	0	0
80	甲状腺ホルモン不応症	(0) 0	0	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	(0) 2	0	2
82	先天性副腎低形成症	(0) 0	0	0
83	アジソン病	(0) 0	0	0
84	サルコイドーシス	(0) 121	71	50

特定医療費（指定難病）受給者数

平成27年3月31日現在

疾患別	市町	総数	内 訳	
			四日市市	四日市市以外
85 特発性間質性肺炎		(2) 22	(1) 12	(1) 10
86 肺動脈性肺高血圧症		(0) 16	10	6
87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症		(0) 0	0	0
88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症		(0) 12	4	8
89 リンパ脈管筋腫症		(0) 3	2	1
90 網膜色素変性症		(0) 87	36	51
91 バッド・キアリ症候群		(0) 3	1	2
92 特発性門脈圧亢進症		(0) 0	0	0
93 原発性胆汁性肝硬変		(2) 124	71	(2) 53
94 原発性硬化性胆管炎		(0) 1	0	1
95 自己免疫性肝炎		(0) 0	0	0
96 クローン病		(2) 202	(2) 113	89
97 潰瘍性大腸炎		(4) 882	(1) 432	(3) 450
98 好酸球性消化管疾患		(0) 0	0	0
99 慢性特発性偽性腸閉塞症		(0) 0	0	0
100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症		(0) 0	0	0
101 腸管神経節細胞僅少症		(0) 0	0	0
102 ルビンシュタイン・テイビ症候群		(0) 0	0	0
103 CFC症候群		(0) 0	0	0
104 コステロ症候群		(0) 0	0	0
105 チャージ症候群		(0) 0	0	0
106 クリオピリン関連周期熱症候群		(0) 0	0	0
107 全身型若年性特発性関節炎		(0) 1	0	1
108 TNF受容体関連周期性症候群		(0) 0	0	0
109 非典型溶血性尿毒症症候群		(0) 0	0	0
110 ブラウ症候群		(0) 0	0	0

〔（ ）内の数字は年度内新規申請者数〕

5 肝炎治療特別促進事業

B型、C型肝炎ウイルス性肝炎の根治を目的として行うインターフェロン治療、インターフェロンフリー治療並びにB型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療にあたり、自己負担を軽減し、治療の促進を図ることを目的として医療給付を行っている。

平成27年3月31日現在

疾病名	総数	内 訳							
		桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市
IFN慢性肝炎 (B型肝炎ウイルスによる)	3	2	0	0	0	0	0	0	1
IFN慢性肝炎 (C型肝炎ウイルスによる)	46	8	4	1	1	6	0	3	23
IFN代償性肝硬変 (C型肝炎ウイルスによる)	1	0	0	0	0	0	0	0	1
3剤慢性肝炎 (C型肝炎ウイルスによる)	83	13	10	0	2	8	4	4	42
3剤代償性肝硬変 (C型肝炎ウイルスによる)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IFNフリー慢性肝炎 (C型肝炎ウイルスによる)	100	20	16	3	4	5	1	3	48
IFNフリー代償性肝硬変 (C型肝炎ウイルスによる)	37	6	16	0	0	2	0	0	13
NAA慢性肝炎 (B型肝炎ウイルスによる)	261	49	12	1	8	39	4	3	145
NAA代償性肝硬変 (B型肝炎ウイルスによる)	53	9	5	2	6	5	0	0	26
NAA非代償性肝硬変 (B型肝炎ウイルスによる)	4	1	0	0	0	2	0	0	1
計	588	108	63	7	21	67	9	13	300

6 健康増進事業

(1) 健康増進法に基づき市町が行う健康増進事業実施状況

H26年度

		計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
新規健康手帳交付数	75歳以上 (人)	777	480	84	0	6	6	81	120
	40～74歳 (人)	3,012	2,046	457	50	8	52	219	180
健康教育指導	個別開始 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0
	集団 (回)	467	298	68	7	2	8	62	22
健康相談開催回数	重点 (回)	62	9	0	5	0	29	0	19
	総合 (回)	285	106	0	45	0	15	44	75
健康診査	受診人員 (人)	96	54	4	0	0	18	6	14
歯周疾患検診	受診人員 (人)	199	29	0	28	142	0	0	0
骨粗鬆検診	受診人員 (人)	684	220	59	0	225	89	46	45
機能訓練	実施回数 (回)	120	96	0	24	0	0	0	0
	訓練実施延人員 (人)	383	165	0	218	0	0	0	0
訪問指導延人数 (人)		264	9	0	73	0	27	65	90

地域保健・健康増進事業報告から

7 骨髄バンク

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって、生への希望である骨髄バンク事業が円滑に実施されるよう骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行うとともに、ドナー（骨髄提供希望者）の登録受付を実施しています。

(1) 骨髄提供登録受付窓口業務

毎週火曜日9:30～11:00に登録窓口を開設し、受付を実施しています。また、献血イベントの際にも、臨時の登録窓口を開設し、普及啓発及び登録受付を実施しています。

平成26年度の登録者数は合計22人でした。

8 臓器移植啓発事業

臓器提供に関する正しい知識の普及啓発を行い、臓器提供意思表示カードの推進を図っています。

(1) 臓器提供意思表示カード配布窓口業務

桑名保健所の窓口において、「いのちの贈りものあなたの意思で救える命」パンフレットと臓器提供意思表示カードの掲示・配布を行っています。

9 ハンセン病啓発事業

「ハンセン病を正しく理解する週間」平成26年6月22日～6月28日まで庁舎ロビーにおいてパンフレットの展示による啓発を行いました。

施策134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保 基本事業13401 薬物乱用防止対策の推進

(主担当:衛生指導課)

主な取組内容

民間団体、学校、市町等の関係機関が連携して、薬物乱用防止に関する啓発活動、取締りおよび再乱用防止に取り組み、県民の皆さんの薬物乱用を防止します。

1 薬物乱用防止対策

地域における薬物乱用防止対策を推進するため、各関係機関の協力を得て「不正大麻・けし撲滅運動」「ダメ。ゼッタイ。普及運動」「危険ドラッグ撲滅街頭キャンペーン」及び「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」等の啓発運動を実施した。

薬物乱用防止指導員及び薬物乱用防止啓発団体からなる桑名地区薬物乱用防止指導者協議会を中心に、多様な主体との協働により薬物乱用防止に向けた取組を行った。

- (1) 県民参加による大麻・けしクリーンアップ事業
 - ・実施時期：平成26年4月1日～6月30日
 - ・管内で約16,164本のけしを除去
- (2) 三重県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン
 - ・日時：平成26年6月20日
 - ・場所：JR桑名駅前
 - ・内容：啓発物品の配付
- (3) 危険ドラッグ撲滅街頭キャンペーン
 - ・日時：平成26年8月25日
 - ・場所：イオンモール東員
 - ・内容：啓発物品の配付
- (4) 麻薬・覚醒剤乱用防止運動
 - ①・日時：平成26年10月18日
 - ・場所：いなべ市大安庁舎周辺
 - ・内容：啓発物品の配付、パネル展示
 - ②・日時：平成26年10月25日
 - ・場所：菰野町立八風中学校
 - ・内容：啓発物品の配付
 - ③・日時：平成26年10月26日
 - ・場所：イオン桑名ショッピングセンター
 - ・内容：啓発物品の配付
- (5) 薬物乱用防止ポスター展示
 - ・日時：平成26年10月17日～10月22日
 - ・場所：イオン桑名ショッピングセンター
- (6) 小学生等への啓発（薬物乱用防止教室）
 - ・日時：平成26年7月から平成27年2月
 - ・対象：管内小中学校高等学校の児童・生徒 約1,555名
 - ・内容：パワーポイント等を用いた講習を実施
- (7) 桑名地区薬物乱用防止指導者協議会研修会
 - ・日時：平成27年2月5日
 - ・参加者：桑名地区薬物乱用防止指導者協議会委員等 16名
 - ・場所：三重県桑名庁舎
 - ・内容：薬物乱用防止教室の取組についての講演会



基本事業13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保

(主担当:衛生指導課)

主な取組内容

1. 薬事法(現:医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づき、これらの施設に対する監視指導を実施します。
2. 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進を図り、県内で必要な血液を確保します。

1 薬事

薬事関係法令の規定に基づき、薬局及び医薬品販売業者等への監視指導を行い、医薬品等の品質確保に努めるとともに、毒物劇物営業者及び麻薬取扱者等に対しても適正な取扱指導を行い危害の防止に努めた。

(1) 薬事関係営業施設数及び監視指導状況

業 種		施設数	監視数
薬 局		113	75
医薬品 販売業	卸売(一般)	39	17
	店舗・薬種商	40	25
	特例	1	1
高度管理 医療機器	販売業	75	36
	賃貸業	28	16
管理 医療機器	販売業	799	117
	賃貸業	42	11
毒物劇物	販売業	127	51
	届出	4	2
	製造業、輸入業	49	27
計		1,317	378

2 献血推進

血液需要の円滑な供給を図るため、街頭ページェントなど献血思想の普及、啓発事業を実施した。

また、高校生による献血ボランティア（ヤングミドナサポーター）を募集し、三重県血液センターの見学会や街頭ページェントの際の来客等への普及啓発活動を一緒に取組むことにより、若年者への献血思想の普及啓発を図った。

(1) 「愛の血液助け合い運動」街頭ページェントの実施

期 日	場 所	受付者数	献血者数
7月20日	星川ショッピングタウンシティ	52	40
8月4日	イオンモール東員	62	46

(2) ウィンター献血キャンペーンの実施

開催日	場 所	受付者数	献血者数
12月3日	イオン大安店	70	60
12月27日	イオンモール東員	47	42
1月11日	イオンモール東員	37	30

(3) スプリング献血キャンペーンの実施

開催日	場 所	受付者数	献血者数
3月15日	星川ショッピングタウンシティ	56	49
3月21日	イオンモール東員	63	53

(4) 市町別献血状況

区分	年度	献血量	計	桑名市	いなべ市	桑名郡	員弁郡	三重郡		
						木曾岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
献血者数	22	200ml	—	—	—	—	—	—	—	—
		400ml	4,249	2,229	766	75	244	439	173	323
	23	200ml	—	—	—	—	—	—	—	—
		400ml	3,499	1,867	651	62	191	293	172	263
	24	200ml	—	—	—	—	—	—	—	—
		400ml	3,550	1,817	664	53	171	391	170	284
	25	200ml	—	—	—	—	—	—	—	—
		400ml	3,832	1,713	641	68	515	448	218	229
	26	200ml	—	—	—	—	—	—	—	—
		400ml	3,858	1,485	602	59	787	491	208	226

基本事業13403 生活衛生営業の衛生水準の確保

(主担当:衛生指導課)

主な取組内容

関係機関と連携して自主衛生管理の導入を進め、理・美容所、公衆浴場などの生活衛生業者の衛生水準の向上を図ります。

1 生活衛生

生活衛生営業施設について、公衆衛生上遵守すべき事項について、各法令等に基づき、監視指導を行った。

(1) 生活衛生関係営業施設数及び監視指導状況

業種	区分	施設数 (H27. 3. 31現在)	監視指導件数	開設数	廃止数
理容所		237	28	7	12
美容所		432	52	23	12
クリーニング所		319	8	3	14
公衆浴場		65	23	3	0
興行場		13	6	3	3
旅館業		132	29	0	8
合計		1,198	146	39	49

※ 「興行場」の監視指導件数及び開設数、廃止数は仮設営業によるものを含む。

※ 「クリーニング所」の施設数には、取次を行うのみの事業所を含む。

基本事業13404 人と動物との共生環境づくり

(主担当:衛生指導課)

主な取組内容

1. 狂犬病予防のために野犬の捕獲を行います。また、動物の虐待防止及び周辺環境の保全のために、犬猫の飼い主に対して適切な飼養管理に関する助言・指導を行います。
2. 動物愛護についての普及啓発のために動物愛護ポスター展等を実施します。
3. 犬とはどういう動物であるかを実体験を通して理解してもらうことにより、正しい理解のもとに生命を尊重する精神を育むこと、また、犬による危害の被害者が減少すること、更には、盲導犬等の紹介を通して、人と動物が共生している事を学んでもらうことを目的として、小学生、幼稚園児、保育園児等を対象に「犬との接し方教室」を実施します。
4. 保健所で捕獲または引取りを行った犬猫に生存機会を設け、適正飼養ができる飼い主へ譲渡するため、「三重県動物飼う前教室」受講申込(犬)または猫譲渡申込(猫)を受け付けます。
5. 保健所に收容された犬猫の生存機会を増やすため、適正に飼養または譲渡ができるボランティア団体に譲渡します。
6. 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物取扱業登録手続きを実施します。

1 狂犬病予防、動物愛護管理

狂犬病予防法及び三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、野犬及び飼い主の判明しない飼い犬を抑制するとともに、飼い主に対して放し飼い等に関する飼育指導を行い、犬による人畜その他への危害の発生防止に努めた。また、猫についても、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、引取りと適正飼養に関する指導を行った。

(1) 畜犬捕獲等業務

年度	畜犬捕獲及び收容頭数	返還頭数	咬傷事故(犬)届出件数	猫引取数
平成22年度	220	38	28	341
平成23年度	227	59	19	388
平成24年度	149	61	21	276
平成25年度	124	64	19	215
平成26年度	150	47	18	158

(2) 犬に関する苦情受付件数

総数	係留義務違反(放し飼い)	迷惑・モラル等(ふん・鳴き声等)	咬傷事故	野犬捕獲依頼	飼い犬引取り依頼	その他
659	31	42	25	100	61	400

(3) 猫に関する苦情受付件数

総数	放し飼い	迷惑・モラル等(ふん・鳴き声等)	野良猫の捕獲について	野良猫引取り依頼	飼い猫引取り依頼	その他
332	4	31	18	87	16	176

2 動物愛護に関する啓発

(1) 動物愛護の絵・ポスター募集

動物愛護週間行事の一環として各小学校、中学校の児童生徒を対象に動物愛護の絵・ポスターを募集し、入賞作品の展示を実施した。

ア. 動物愛護の絵・ポスター応募枚数

	応募枚数	入賞枚数
小学校	1561枚	6枚
中学校	143枚	3枚

イ. 動物愛護の絵・ポスター入賞作品展

期間	会場
平成26年10月23日～10月28日	イオン桑名ショッピングセンター1番街

(2) 動物を愛護する心の啓発事業

人と動物とのかかわりについて学ぶ機会と動物愛護意識の高揚に向けた啓発を充実させるため、小学校の児童を対象に出前教室などの事業を行った。(公益財団法人三重県動物愛護管理センターとの協働事業)

開催状況

開催回数	参加者数
7回	351人

3 犬・猫の譲渡事業

保健所に収容した犬・猫を適正飼養ができる飼い主へ譲渡を行うことで、生存の機会を設け、動物の愛護及び生命の尊重の精神の周知を図ることを目的に実施した。

- (1) 三重県動物飼う前教室受講申込数(犬) 14人
- (2) 猫の譲渡申込数(猫) 3人
- (3) ボランティア団体への犬猫譲渡頭数 犬 27 頭、猫 13 匹

4 動物取扱業

動物の愛護及び管理に関する法律の改正に伴い、平成18年6月1日より動物取扱業は登録が必要となった。さらに、平成25年9月1日より従来の動物取扱業は第一種動物取扱業と名称を改め、新たに非営利で動物を取扱う者についても一定以上の頭数を収容する場合には第二種動物取扱業として届出が必要となった。この登録または届出のあった施設の監視指導を実施した。

(1) 第一種動物取扱業施設数及び監視指導状況

施設数	新規登録数	廃止数	監視指導件数
106件	17件	7件	31件

(2) 第二種動物取扱業施設数及び監視指導状況

施設数	新規届出数	廃止数	監視指導件数
1件	0件	0件	1件

施策142 障がい者の自立と共生
基本事業14204 精神障がい者の保健医療の確保

(主担当:地域保健課)

主な取組内容

1. 休日及び夜間における精神疾患の急性発症等に対応するため、精神科病院の輪番制による精神科救急医療体制を確保します。

1 精神保健医療対策事業

(1) 通院医療費公費負担事務

(審査月別申請件数)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成23年度	8,859	843	542	707	768	643	779	703	506	790	663	1,008	907
平成24年度	8,630	673	877	703	684	739	731	760	719	647	707	736	654
平成25年度	9,701	643	904	824	847	782	681	762	772	776	849	911	950
平成26年度	9,543	873	854	703	797	767	781	828	819	634	855	860	772

※ H21年度から診断書が2年に1回の添付となったため、保健所承認件数含む(再掲)

(年度末人員数)

市町名	合計	桑名市	木曾岬町	いなべ市	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市市
平成23年度	8,233	1,842	65	512	248	544	140	176	4,706
平成24年度	8,580	1,967	56	527	267	565	144	182	4,872
平成25年度	8,994	2,075	60	552	273	588	139	188	5,119
平成26年度	9,355	2,124	68	553	278	626	151	202	5,353

(2) 精神保健措置事業

区分 年度	申請・通報件数				指定医診察結果		保護申請に基づく調査により			
	計	法22条(旧23条)	法23条(旧24条)	法26条の2	法27条の2	法29条該当	29条非該当	他の福祉施設	指定医診察不要	その他
平成23年度	13		13			8	5			
平成24年度	9		9			5	3		1	
平成25年度	15		15			9	4		2	
平成26年度	15	1	14			9	4		2	

(3) 疾患別措置入院者の状況

(平成26年度中の法29条該当内訳)

性別	疾患別	総数	統合失調症	そううつ病	心因反応	非精神型病	てんかん	知的障害	神経衰弱	アルコール性精神病	その他
	総計	計	9	3							
男		4	2								2
女		5	1								4

基本事業14205 障がい者の社会参加環境づくり

(主担当:地域保健課)

主な取組内容

1. 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加を目的に精神保健福祉相談及び訪問指導等を実施しています。
2. 精神障がい者の家族が、疾患についての知識や理解を深めるとともに、お互いの交流を図り、日頃の悩みを話し合いながら支え合う体制づくりの強化に努めます。

1 精神障がい者地域生活支援事業

(1) 精神障害者保健福祉手帳交付事業

	年度末人員	級 別 内 訳			
		1 級	2 級	3 級	
平成23年度	2,824	438	1,871	515	
平成24年度	3,066	431	2,050	585	
平成25年度	3,389	440	2,211	738	
平成26年度	3,588	443	2,329	816	
年度内訳	桑名市	1,154	189	785	180
	いなべ市	197	24	125	48
	木曾岬町	27	2	16	9
	東員町	99	17	56	26
	菰野町	199	17	125	57
	朝日町	40	3	27	10
	川越町	66	5	39	22
	四日市市	1,806	186	1,156	464

(2) 精神障がい者保健福祉相談指導事業

在宅の精神障がい者及びその家族に対し、社会復帰の促進や自立と社会参加の促進のための相談を行った。また、月1回、専門医による精神保健福祉相談を行った。

区分	面接件数※		訪問件数		電話等件数
	実人員	延人員	実人員	延人員	延件数
平成24年度	83	129	29	64	371
平成25年度	86	120	38	131	631
平成26年度	89	122	33	88	743

区分	専門医による面接相談件数	
年度	実人員	延人員
平成26年度	24	24

※面接件数より抜粋

2 精神障がい者社会復帰推進事業

(1) 危機予防・危機介入

ア 処遇困難事例への対応（ケア会議）

措置入院患者の退院後のサポート体制、また処遇困難事例のサポート体制をつくることを目指し重点的に取り組んだ。

ケア会議の実績 実人員 11人 延べ 22人

イ 桑員地域精神保健福祉連絡会議の実施

日時：平成27年1月30日

場所：桑名庁舎

参加者：警察署（桑名、いなべ、四日市北、四日市西）、消防署（桑名、四日市、菰野）
精神科病院（北勢、東員、大仲さつき、多度あやめ）、障がい者総合相談支援
センターそういん、市町（桑名、いなべ、木曾岬、東員、菰野、朝日、川越）

内容：各機関の現状報告と意見交換を実施。それぞれの役割を理解するとともに、危機介入時に連携し、スムーズに対応ができるように話し合いを行った。

(2) 地域支援体制（ネットワーク）の整備

ア 地域家族会（しぐれ会）への支援

①総会への参加

日時：平成26年5月10日（土）

場所：桑名市民会館3階第1会議室

参加者：13名

実施主体：桑名しぐれ会

イ 桑員地域自立支援協議会生活移行促進部会（NEX）運営の支援

①定例会 7回参加

②地域移行に関する研修会

目的：病院職員と入院患者に対する地域移行・地域定着支援事業の普及啓発

日時、場所、参加者数：

H27.3.4	東員病院	参加者23名
H27.3.5	多度あやめ病院	参加者31名
H27.3.13	北勢病院	参加者49名
H27.3.18	大仲さつき病院	参加者42名

ウ 桑名市地域自立支援協議会への支援

①第3期桑名市障害者計画・第4期障害福祉計画策定会議への参加 7回

第2節 「創る」 ～人と地域の夢や希望を実感できるために～

政策3 子どもの育ちと子育て ～子どもが豊かに育つことができる社会～

施策232 子育て支援策の推進

基本事業23202 母子保健対策の推進

(主担当:地域保健課)

主な取組内容

1. ハイリスク児の養育支援や市町支援等を行うことで、虐待予防に視点をおいた機能強化に努めます。

1 母子保健対策事業

(1) 健やか親子支援事業

ア 事業の目的

心身の発達に問題を抱える子ども及び養育上の問題を持つ保護者とその子どもに対して、支援を行い、状況に応じた適切な助言・指導を行い、養育の負担軽減につなげた。また、関係機関との調整を図ることにより、地域で安心して生活できるよう支援を行った。

① 研修会・関係機関連絡会議

内 容	対 象	回 数
(虐待予防) ・ 桑名市要保護児童及びDV対策地域協議会 ・ 木曾岬町こども虐待及び配偶者の暴力防止ネットワーク ・ 菰野町要支援親子ケース検討会	虐待防止事業担当者、 学校関係者、医療関係者、 保健福祉関係者等	17回
(母子保健体制の整備) ・ 桑員地区乳幼児健診検討委員会 ・ いなべ市・員弁郡医師会乳幼児健診検討委員会	小児科医師、産婦人科 医師、病院MSW、保 健師等	10回
(意見交換会) ・ 桑名管内母子保健担当者意見交換会の開催	市町保健師、児童相談 所保健師、保健所保健 師、県母子保健班担当	2回
(研修会) ・ 桑名管内母子保健担当者研修会の開催	訪問看護ステーション 看護師、市町保健師、	1回

イ 考察及び課題

管内では医師会主催の乳幼児健診委員会等、行政と医療機関の連携体制が構築されている。さらに管内小児科医師を中心とした、在宅療養児支援の検討も行っている。

平成25年4月1日より、未熟児家庭訪問等の事業が市町村へ権限移譲された。今後は、精神疾患をもつ母親や産後うつを発症する母親等に対し、医師や関係者と連携しながら母親等のメンタルヘルスを中心に母子保健の推進、向上を図っていくこととする。

2 母子医療対策事業

(1) 小児慢性特定疾病医療支援事業

小児慢性疾病のうち特定の疾病については、治療が長期にわたるため、医療費の負担が高額となる。これを放置することは、児童の健全な育成を阻害することとなるため、小児慢性特定疾病の医療支援事業を行い、患者家庭の負担軽減を図っている。

(平成27年3月31日現在)

	計	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に
給付件数	486	67	50	21	81	141	11	24	15	16	4	23	31	2
桑名市	133	13	15	5	21	50	3	4	7	4	1	1	8	1
いなべ市	32	5	5	1	7	8	0	2	0	1	1	1	1	0
木曽岬町	5	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0
東員町	21	4	1	2	3	4	0	2	1	0	0	0	4	0
菰野町	29	8	3	1	6	6	0	1	0	0	1	2	1	0
朝日町	9	2	1	0	1	3	0	1	0	0	0	1	0	0
川越町	17	1	1	0	2	8	0	0	1	2	0	1	0	1
四日市市	240	34	24	12	40	59	8	14	5	9	1	17	17	0

(2) 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微受精（以下「特定不妊治療」という。）については、1回の治療費が高額であり、経済的負担が重いことから、十分な治療が受けられず、望んでいるにも関わらず子どもに恵まれない方も少なくない。このことにより、平成16年度から特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図っている。

平成26年度

	計	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	菰野町	朝日町	川越町
助成件数	496	264	62	13	37	46	38	36

3 母体保護事業

母体の生命健康を保護することを目的とする母体保護法に基づき届出が行なわれます。

(1) 人工妊娠中絶

(平成26年度分)

年齢 在胎週	総数	15歳 未満	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	不詳
総数	759	0	1	14	14	25	15	145	145	159	150	85	6	0
満7週以前	453	0	1	6	8	13	11	72	86	98	94	60	4	0
8週～11週	263	0	0	5	4	10	4	58	53	53	51	23	2	0
12週～15週	19	0	0	0	2	1	0	8	4	3	1	0	0	0
16週～19週	19	0	0	3	0	0	0	6	2	3	3	2	0	0
20週～21週	5	0	0	0	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

衛生行政報告例から

(2) 不妊手術届出数

(平成26年度分)

年齢 区分		総数	20歳 未満	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50歳 以上	
			女	第3 条 該当	第1号該当	5	0	0	2	1	2
第2号該当	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
計	5	0		0	2	1	2	0	0	0	

衛生行政報告例から

桑名保健所の沿革

- 明治30年(1897年) 伝染病予防法施行
- 昭和12年(1937年) 保健所法公布
- 昭和19年(1944年) 10月 **三重県桑名保健所発足(職員10人)**
前身は桑名簡易保険健康相談所(桑名市上野18)
- 昭和22年(1947年) 7月 戦災後桑名郵便局の一室を仮事務所として業務執行(職員16人)
- 昭和22年(1947年) 新保健所法、食品衛生法、児童福祉法制定 (施行は、3法とも昭和23年1月)
- 昭和23年(1948年) 児童福祉法、予防接種法、性病予防法施行
- 昭和23年(1948年) 11月 課制(機構)執行(職員27名)
- 昭和24年(1949年) 4月 新庁舎完成移転(桑名市常磐町、敷地215坪、建坪114坪)
- 昭和24年(1949年) 身体障害者福祉法制定
- 昭和25年(1950年) 精神衛生法、狂犬病予防法、生活保護法制定
- 昭和26年(1951年) 結核予防法、社会福祉事業法 (平成12年6月 「社会福祉法」に改称) 制定
- 昭和27年(1952年) 栄養改善法制定
- 昭和27年(1952年) 9月 係長制度施行
- 昭和31年(1956年) 8月 薬剤師法、薬事法制定
- 昭和35年(1960年) 精神薄弱者福祉法制定
- 昭和35年(1960年) 8月 次長制度施行
- 昭和38年(1963年) 老人福祉法制定
- 昭和39年(1964年) 母子福祉法制定 (昭和56年「母子及び寡婦福祉法」に改称)
- 昭和40年(1965年) 母子保健法制定
- 昭和45年(1970年) 心身障害者対策法制定
- 昭和48年(1973年) 5月 新庁舎完成移転(桑名市中央町五丁目71番地)
- 昭和48年(1973年) 9月 動物の保護及び管理に関する法律制定 (施行は、昭和49年1月)
- 昭和51年(1976年) 4月 機構改革により環境課新設、衛生課を衛生指導課に改称
- 昭和53年(1978年) 4月 機構改革により総務課に検査係新設、普及係を医事統計係に改称
- 昭和54年(1979年) 10月 薬事法改正
- 昭和61年(1986年) 4月 機構改革により総務課医事統計係を廃止、総務係に吸収
- 昭和62年(1987年) 精神衛生法改正 (「精神保健法」に改称)
- 平成元年(1989年) 後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行
- 平成5年(1993年) 4月 機構改革により総務課検査係を廃止、保健婦室を保健指導課に改称
保健予防課保健係、予防係を保健予防係に統一

- 平成5年(1993年) 12月 心身障害者対策法改正（「障害者基本法」に改称）
- 平成6年(1994年) 6月 地域保健法制定(保健所機能の強化)、関係法律整備(保健所法、母子保健法、児童福祉法、栄養改善法、医療法、薬事法、伝染病予防法、食品衛生法等)
- 平成7年(1995年) 7月 精神保健法改正(精神障害者保健福祉手帳制度の創設、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に改称)
- 平成8年(1996年) 4月 らい予防法廃止、6月 薬事法改正
- 平成9年(1997年) 4月 地域保健法全面施行
- 平成9年(1997年) 4月 機構改革により企画調整課新設、保健予防課、保健指導課を地域保健課に統一
- 平成9年(1997年) 12月 介護保険法制定(平成12年4月施行)
- 平成10年(1998年) 4月 機構改革により旧桑名保健所と旧北勢福祉事務所の一部を統合し、児童相談機能を含めて『北勢県民局桑名保健福祉部』として発足(桑名保健所は併置機関として存続)
- 組織体制は、部長(福祉監兼)、保健監(保健所長兼)、副部長のもと、企画総務、健康増進、福祉保健、衛生指導のグループを設置。各グループにグループリーダーを置く。環境課業務を移管する。
- 平成11年(1999年) 4月 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)施行(伝染病予防法、性病予防法、後天性免疫不全症候群の予防に関する法律廃止)
- 4月 精神薄弱者福祉法改正(「知的障害者福祉法」に改称)
- 12月 動物の保護及び管理に関する法律改正(「動物の愛護及び管理に関する法律」に改称。施行は、平成12年12月)
- 平成13年(2001年) 3月 地域健康危機管理ガイドライン策定(厚生労働省)
- 平成14年(2002年) 4月 チーム、グループ制の導入により、桑名保健福祉部に福祉相談チーム(経営支援、生活支援、子育て支援の各グループ)、保健衛生チーム(計画調整、健康増進、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、チームマネージャー、グループチームマネージャー、グループリーダーを置く。
(保健衛生チームマネージャーは保健所長を兼務)
- 平成14年(2002年) 8月 健康増進法制定(平成15年5月施行)
- 平成15年(2003年) 4月 経営支援グループと計画調整グループを統合して経営企画グループとし、福祉相談チーム3グループ、保健衛生チーム2グループとする。
- 平成15年(2003年) 5月 食品安全基本法制定、食品衛生法改正(リスク分析手法の導入)
- 平成16年(2004年) 4月 チームマネージャー等のカタカナ呼称や組織名称等の改正があり、桑名保健福祉部に福祉相談室(経営企画、生活支援、子育て支援の各グループ)、保健衛生室(健康増進、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、室長、グループリーダーを置く。
(保健衛生室長は、保健所長を兼務)
- 平成16年(2004年) 12月 発達障害者支援法制定(平成17年4月施行)
- 平成17年(2005年) 4月 組織名称等の改正があり、桑名保健福祉部に企画福祉室(企画市町村支援、福祉の各グループ)、保健衛生室(健康増進、地域保健、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、室長、グループリーダーを置く。
(保健衛生室長は、保健所長を兼務)
- 生活保護業務を四日市保健福祉事務所に、児童相談業務を北勢児童相談所に移管

平成17年(2005年) 4月 薬事法改正

6月 食育基本法制定(平成17年7月15日施行)

6月 動物の愛護及び管理に関する法律改正(平成18年6月1日施行)

10月 障害者自立支援法制定(平成18年4月1日施行)

平成18年(2006年) 4月 **機構改革により県民局制度が廃止され、健康福祉部直轄の地域機関『桑名保健福祉事務所』となる。**

保健福祉事務所-保健衛生室-企画福祉課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課の1室4課体制で、各課に「課長」を置く。

平成18年(2006年) 6月 老人保健法改正(「高齢者の医療の確保に関する法律」に全面改正)

12月 精神保健福祉法改正(「精神病院」を「精神科病院」に改める)

12月 結核予防法の廃止。感染症法、予防接種法改正(平成19年4月1日、6月1日施行)

平成20年(2008年) 4月 **四日市市が保健所政令市に移行し、四日市市保健所が設置される。**

これに伴う機構改革により、三重県四日市保健福祉事務所は、平成20年3月31日付けで廃止。同年4月1日から、①四日市市保健所に移譲されなかった四日市市にかかる保健所業務、②三重郡3町にかかるすべての保健所業務が、桑名保健福祉事務所に移管される。

その結果、桑名保健福祉事務所の所管区域は、桑名市、いなべ市、桑名郡木曾岬町、員弁郡東員町、四日市市、三重郡菟野町、同朝日町、同川越町の3市5町となる。

「福祉相談室(北勢福祉事務所)」-福祉課、生活保護課-と、「保健衛生室(桑名保健所)」-総務企画課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課、食の安全・安心監視課-の2室7課体制となり、福祉相談室は三重県四日市庁舎に、保健衛生室は三重県桑名庁舎に執務室を置く。

平成23年(2011年) 4月 組織体制の変更により、保健衛生室 食の安全・安心監視課が廃止となり、「福祉相談室(北勢福祉事務所)」-福祉課、生活保護課-と、「保健衛生室(桑名保健所)」-総務企画課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課-の2室6課体制となる。

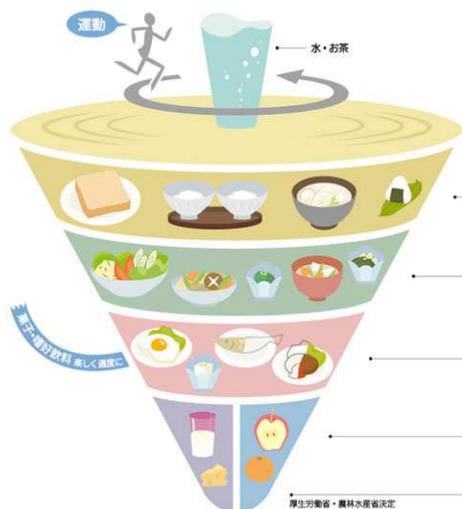
平成25年(2013年) 4月 県の組織改正により、「桑名保健福祉事務所」を廃止し、「桑名保健所(旧・桑名保健福祉事務所保健衛生室)」と「北勢福祉事務所(旧・桑名保健福祉事務所福祉相談室)」に分離

※ 「四日市市」にかかる数値等の取り扱い

三重県行政機関設置条例(平成17年12月27日三重県条例94号)により、桑名保健所の所管区域は、桑名市、いなべ市、桑名郡、員弁郡及び三重郡と規定されています。

平成20年4月1日より、四日市市が保健所政令市に移行し四日市市保健所が設置され、四日市市民の保健衛生や健康の増進に関する事項等を所管しています。

本冊子は、桑名保健所が平成25年度中に取り組んだ事業や内容等を中心にまとめたものであることから、「四日市市」に関する記述や数値は障害者総合支援法など、県の義務として、直接に関係するものにとどめてあります。



食事バランスガイド

あなたの食事は大丈夫？

1日分	料理例
5-7 主食 (ごはん、パン、麺) <small>2.5SV</small> ごはん(中量)だったら5-4杯程度	1つ分 = ごはん(中量)1杯、おにぎり1個、食パン1枚、ロールパン2個 15つ分 = ごはん(中量)1杯、うどん1杯、ちりめん1杯、スライサー
5-6 副菜 (野菜、きのこ、いも、海藻料理) <small>2.5SV</small> 野菜料理5皿程度	1つ分 = 野菜サラダ、きゅうりとトマトの和え、長たけこんぶの煮物、ほうろく味噌汁、ひじきの煮物、煮干し、きのこのソテー 2つ分 = 野菜の煮物、野菜炒め、芋の煮こころがし
3-5 主菜 (肉、魚、卵、大豆料理) <small>2.5SV</small> 肉・魚・卵・大豆料理から3皿程度	1つ分 = 鶏肉、納豆、ほうろく味噌汁、煮干し、卵かけご飯、焼肉、魚のあら、まぐろの刺身 3つ分 = ハンバーグステーキ、鶏肉のしょうが焼き、鶏肉のから揚げ
2 牛乳・乳製品 <small>2.5SV</small> 牛乳だったら1本程度	1つ分 = 牛乳(200ml)、ヨーグルト、チーズ10g、スライスチーズ1枚、ヨーグルト1パック 2つ分 = 牛乳(400ml)、ヨーグルト2パック
2 果物 <small>2.5SV</small> みかんだったら2個程度	1つ分 = みかん1個、りんご半片、バナナ1本、葡萄1串、ぶどう実1握り、桃1個

※SVとはサービング(食事の提供量の単位)の略

三重県桑名保健所

<http://www.pref.mie.lg.jp/WHOKEN/HP/>

511-8567 三重県桑名市中央町5丁目71番地

総務企画課	0594-24-3621
健康増進課	0594-24-3625
地域保健課	0594-24-3620
衛生指導課	0594-24-3623
ファックス	0594-24-3692